第四千三百六十五號 （水曜日） THE KEIJO NIPPO 大正八年十一月二十六日

京城日報

（年中無休刊）

本紙定價 一部金四錢 壹ヶ月金八十錢 郵稅共
廣告料 五號活字一行金一圓

京城太平通一丁目
發行所 合資會社京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
電話番號 長六千九百番 振替京城三〇〇番

十一月廿五日夕刊（朝夕刊併せて八頁）

福州事件 眞相報告電命 支那新聞の囈語

福州事件に就き支那政府は福建督軍に宛て事件の眞相を報告せよと訓令し報告に基き日本公使と交渉開始すべき旨命せり尚ほ新聞紙は福州事件は由日本に在りとし左の如き交渉を日本に向け開始すべしと報じつゝあり（北京電報）
（一）日本は支那に向け罪を謝すること（二）福州日本領事を更迭すること（三）死傷者の賠償金を請求すること（四）犯罪日本人を處罰せしむること（五）今後日本商人武器を携帯するを得ざること（六）日本領事館警察署長を懲罰すること

セ將軍懷柔底意か

セミヨノフがロザノフより獨立し濟多管區司令官に任命せられ方面軍總司令官サハロフに直屬する事となりたるに關しサハロフは是を作戰上の要求に基くものなりと稱し居れるも一般はコルチャック提督が極東の政變を憂ひセミヨノフ將軍を懷柔せんとする底意に出でたるものと觀測しつゝあり（哈爾賓電報）

支那賦税調査

北京政府は各督軍の財政整理意見及周自齊氏の建議に據り全國の賦税を精査し以て宿弊を除き併せて民生及財政に資せんとしつゝあるが何れ大局の統一を俟ち根本的に實行すべし（北京電報）

不穩書籍刊行査禁

北京政府は公認軍使に宛て左の要旨の訓令を發せり（北京電報）
新疆甘肅兩省よりの報告に依れば該處に於て某國人と回教徒と聯絡し『我は我也』と命名せる書籍を刊行して配布しつゝあり是は回教徒を煽動して獨立を鼓吹するものなるべし既に政府は該兩省に打電して嚴重査禁を命じたるが上海は各種人の雜居地なるを以て斯の如き書籍流傳するやも料られず嚴重に探偵して査禁すべし

政務總監の演説 政友會政務調査會に於ける

政友會にては二十四日午後二時より政務調査會總會を開きたるが席上政務總監水野博士の朝鮮統治演説あり其の要旨左の如し（東京電報）
朝鮮人に對しては宜しく温情主義を以て善導するを要す此の點に就き余は印刷物を以て近く一般に説明す可し教育改善に就ては現行制を改正し内地同樣修業年限延長の必要を認む又小學教育機關普及に就ても從來の六面一校平均を三面一校平均に改正する方針なり財政問題は今日のところ獨立を許さず産業奬勵に就ては將來最も有望なる農業、鑛業及林業等幾多の施設を要するもの在り此等は目下調査立案中なり言論機關は各地の實狀に應じて之を認可せんとす云々

護軍使任命

寧波護軍使代理を命ぜられたる何豐林氏は此程前護軍使盧永祥氏より一切の事務引繼を了したる旨二十三日通電ありたり氏は山東省出身にして現に第十師第二十旅團長兼滬古嶺鎮守使なり（北京電報）

紐育金融狀況

紐育金融市場引締き強硬コール、マネー十乃至十二の取引最も多し定期貸金年七一流會員銀行引受け三十日手形貸四、八分の三乃至四、八分の一商業手形五、二分の一取引も穩穩なり株式市場は中備銀行の利上コール、マネー昂騰により興業株殊に不味公債賣却の六十五[illegible]に談賞す然らう

銀貨漸次減影

倫敦銀相場は外國爲替の値も軟弱なるため（英向）四、一五四分の一（佛向）九、〇三（獨向）二八、三（伊向）一一、二六英國政府の影響を受け銀地相場騰貴し一、三〇弗より一、三一、二分の一弗の相場を現へ銀幣の金に對する相場は法定相場以上となれり尤も取引無し而してオムスク政府へ英國側と協商にて金擔保融通の米國銀行側分擔額四千百五十萬弗なり（紐育電報）
倫敦銀相場と本邦補助貨の實質價格を比較するに大正七年式五十錢銀貨は現價格五十錢一毛の銀貨は倫敦銀相場の[illegible]る紙幣の現はれぬ以上は之れが再燃は寧ろ期して俟つべきであらう、物實は價値ある紙幣でなければならぬ

西伯利富源開發
哈爾賓商品陳列館 森御蔭氏談

露西亞に於て今日迄に亂發されたる紙幣は實に其の額百億に達し其の他

小札拂底の

理由の下に哈爾賓に於ける多くの支那商人は此の紙幣同樣の紙幣に其價値を認めんとせず西伯利紙幣の受入れを極力拒んで居る日本商人でも此の西伯利紙幣は全く持ちあぐんで居る[illegible]に於ける概算でも數千萬留を算してゐることであらう、如何なる準備金なく又如何なる成算もなく濫發された之等の紙幣が何うして其價値を維持し得る道理があらう百億數千萬の紙幣が何うして其當然の結果である。紙幣が流通してゐる以上は物資の流動の圓滑も望まれない、之等の紙幣の價値が漸次下落して紙屑に等しくなるのは當然の事であつて寧ろ現在若干の價値を有する事が不思議でなければならぬ、と同時に若干乍らも現在價値を有してゐる事を寧ろ幸福とせねばならぬ、

斯くの如く

極端なる紊亂に陷つた露國の財政を救濟する事は即ち露國の國力を復活する第一要素であるが是等露國の財政並に政治の復活には輸送機關の改良發達といふ事を第一の要件とせねばならぬ而して輸送機關の一大要素は從業員の勵精に在るが此の從業員の勵精を求めんとするには彼等の生活を安定せしめなければならぬ卽ち彼等の生活を支配する物資は屑紙幣にては決して購買し得るものではない然るに今日の當局は此の惡紙幣を以て其の勞役に酬ひつゝあるのであるから其等の不平は全く當然の現象

當然の現象

ではあるまいか同盟罷工の起るのも決して不思議ではない東清鐵道に於ける團體は此の程漸く餓都する點より觀ても同盟罷工の起るのは全く

前述の如く

紙幣が流通してゐる以上は物資の流動の圓滑も輸送機關の完全なる運轉を期待する事は出來ぬ、輸送機關と物資の流動が圓滑に行はれない以上は露國人に生活の安定を與ふる事も絶對に出來ぬ露國民の生活が動搖してゐる以上は亦健全なる國家を形成する事は出來ぬ、然らば如何にしたならば此の紊亂極まりなき露國を復興せしめ健全なる國家を形成せしめ得べきかといふに斯かる惡紙幣を整理統一して紙幣の價値を昂上せしむるといふ事が第一要義である、而して其の整理統一は露西亞の

富源を基本

として其價値を有する外國資金を注入し物資の流動と輸送機關の圓滑を計るを根本義とせねばならぬ、根本を培はずして徒らに枝葉を繁茂せしめんとする事は決して出來ない、西伯利の富源が宏大なるは世人の認むる所であつて露西亞の復興を援助するには此の富源の開發を第一着手とせねばならぬ、然り、西伯利の富源を開發して紙幣の統一整理を計り其價値を昂上せしむる事は、單に露國復興の要素たるのみならず世界人類の安定を保つ所以である、最近露西亞に於ける著名なる政治家は吾人に語つて曰く

平然として

『日本が眞に露西亞を援助し復興せしめんとするの誠意があつたならば誰が何と云ふとも富源を開發するに努力して吳れては何うか、是れ唯一の露國救濟の途である、根本問題である若し日本が之れを爲さなければ他列國の孰れかゞ之に着手するであらう、卽ち然らざれば露西亞は決して復興し得ぬのである』と、卽ち此の露西亞人の言は吾人が平素の所懷と合致するものである云々（京城支局）

敵國通信制限規定廢止

大正五年十二月二十二日總督府令を以て發布せられたる敵國通信制限規定はこれを廢止する旨二十六日府令を以て發布即日施行さるべきが右は内地に於て本月二十日附を以て制限廢止方發表ありたるに因り朝鮮に於ても

造林事業概況

最近調査に係る大正七年秋季及同八年春季に於ける地方官造林事業の概要を聞くに該事業は全羅南道を除き各道に之を行ひ其の新植面積約二百二十一町步にて然も擔保育面積約二千二百八十七町步新植及び補植本數約九十五萬六千本にして之に要せる經費七千六百五圓なるが之を前年に比すれば保育面積約二百五十五町步新植面積約百二十八町步本數約四十三萬一千本經費一千七百九十二圓を減ぜりと

るに昨今倫敦相場は七十片を唱へ居り同年式五十錢銀貨は五十四錢見當にて之を溶解せば四五錢を利すとこなり從つて五十錢銀貨の市場に流通少くならんこと其の必要なきが爲めなりと

局部長會議

二十五日午前十時より總督府第一會議室に於て定例局部長會議を開き齋藤總督を始め各部長並に所屬官署長參集諸般の政務に就き協議する處ありたり

辭令

今回左の通り辭令あり
總督府道事務官 三木進一郎
依願免本官（二十四日附）
江原道技師 内藤楠
依願免本官（二十四日附）
京畿道高等官三等（同日附）
陞叙高等官二等 閔元植
中樞院副賛議被仰付（同日附）
忠清北道判事 波多野正四郎
依願免本官（各通二十三日附）
總督府技師 竹下榮

外國語高等試驗

軍司令部當局部隊將校の外國語高等試驗は二十五六の兩日軍司令部に於て施行さるべきが受驗者は二十五六の兩日部隊管下部隊の外國語高等試驗は受驗者八名にして英語二名佛語一名支那語一名露西亞語一名獨語一名蒙古語一名なりと

有蓋貨事竣成

龍山工場に於て製作中の有蓋車五十輛の内二十二日三輛竣成したるを以て累計三十一輛となれり

殖鐵創立總會

朝鮮殖産鐵道會社創立事務所にては十一日午後一時京城支店樓上に於て創立總會を開會する事項は左の如し
一、創立に關する事項報告の件
二、定款確定の件
三、取締役及監査役選任の件
四、取締役及監査役の報酬決定の件
五、商法百三十四條規定の事項調査及報告の件

美濃部總裁

京城商業會議所會頭として美濃部鮮銀總裁推薦は既報の如くなるも民間の某有力者より頻りに美濃部氏に蹶起を求めしも同行重役中反對者もあり美濃部氏は尙ほ熟考を回答として諾否の言明を避けしが結局氏の會頭問題は困難なるやに噂され民間有力者より之を擧ぐるの事となるべくその候補者推薦は美濃部松平久保三特別評議員の詮衡に一任する事とならんと

軍司令官金子

目下榮轉の内命あり目下旅裝準備中なるが八日頃龍山に赴任すべく家族は令息が中學校一學年修了を待ち三月下旬東京に向ふべし
軍司令部幕僚北池は二十六日在京菊に於て送別宴を開くべし

廿師團長視察

淨法寺師團長は二十五日正午より吉永古城副官を代理として二十五日京城の途にある宇都宮軍司令官は金剛根子病氣重態の報を聞き司令部を見舞はしめたり

商銀支配人

朝鮮商業銀行支配人豐田明敏氏の辭意は既報の如きが氏は未だ辭表提出の運びには至らず唯僅に河內山財務局長矢島理財課長との間に辭任に關する了解をなし居れるも河內山氏よりは來月中旬まで

鮮銀兩地張宴

鮮銀にては京城に於ける十周年記念祝賀宴は二十九日ヤマトホテルの豫定にて大田理事は大連の張宴は來月十日頃中旬と主に美濃部總裁は來月初々

財閥話

◇朝鮮銀行券見換の殘り金塊は在萬十萬圓に留まつて愈換券を見合せて正貨準備は日本銀行に存して發券の二十分の一以上は正貨の硬貨で置かねばならぬ

▲寺内總督の時鮮銀券の正貨準備は日本銀行兌換券を成るべく使用せしめ又は向けてあるので正貨準備の增加は内地での硬貨に換せしむる筈で其の計數は五分に應じてゐたものだ▲唯米國の金の解禁は鮮銀正貨準備の一助にもなるが今年來金もドシく入つて來る事になつた結果日銀所有在外正貨の増加は今の所殆んど換兌以上に硬貨準備に繰入れ得る事となつたので同行も公表を急くとの事である

山本大佐榮轉 軍司令部參謀として在勤二年三箇月榮轉の事となりたる步兵大佐山本鶴一氏は今回連隊長に

◇京元線の地下に日本より受けた地金の豫算に依り正貨準備中に於て二十日歲末に於て特別準備の硬貨額は七千萬圓に

資金流出傾向

內地金利昂騰

十月中内地商業部と銀行間に預金金利子を嚴に協定し現在の利子は六分以下に止まれる現狀なるも...收する京城の銀行は七分以上に吸收さる預金を移入したるも...朝の財界は大勢緊縮一方にて金利の騰き漸次昂騰し最近に至つては一流銀行にして利廻り七分に上りし之等の…資口を見出す銀行は内地に向ひ其の年末切迫して金融繁忙に向ひ殊にさる傾向あり京城金融の繁縮は右を有力の一因として數へ得べしと云ふ

中隈賣買制限

仁川期米商落著き仁川取引所の十二月限は現に七萬石の取組ありその喰合を如何に處分さるるかは米界の問題となり居れるが此上新規賣買を銀行せんか買方は起くまで債括り的攻勢をとり安値時代の踏り玉を有する賣り方の苦痛は甚大なるものあり殊に十二月限は受渡し期廿日なるを以て取引所にては此上の新規賣買を穩かならずと認め轉賣買戾しを除く外二十四日後場より新規賣買の停止を行ひたり向は相場は前日後場より二十五日本場に引續き昂騰の反動並に內地の幾分堅合みにて七圓幹を保合居れり

人事消息

▲安武直夫氏（總督府商工課事務官）令息病氣の爲め二十三日朝南大門驛發旅程十日間の豫定を以て赴京
▲堤晴美氏 二十五日朝東京より歸城
▲大田三郎氏（朝鮮銀行理事）二十五日午後十一時發列車にて大連へ
▲松井民次郎氏（平壤實業家）二十五日朝入城山本へ
▲福井武次郎氏（釜山實業家）同上
▲ツオーレイ氏（米國實業家）一行十七名二十四日夜通過內地へ
▲倉知鐵吉氏（中日實業副總裁）一行二名同上
▲山川海軍省參事官▲小牧海軍軍務局員（大佐）二十七日京城着三泊の上三十日內地に歸還すべしと

懸賞川柳 劍花坊先生選

鬼 龍山 死口
鬼までが生活難を訴へる 旭
昌 學 香
あんまりの事に女房鬼に成り 京城 夢路
鬼の首取つたほどで撰に入り 永樂町 風來坊
幼稚園可愛い鬼が泣いてゐる 仁川 利典坊
アメリカへ采配をふる桃太郎

其の日

◇巴里最高會議は、講和條約は、來月一日より施行すべく決議せりと報ぜらる。吾人は日、伊の四大國が、既に條約に批准を了せし事を知る、正直なる日本の如きは、至急報を以て批准審記の手續きを履行したが、然るに佛國外務省は未だに審記調書の作製を遲延し居れるが如きは、甚だ怪ならずとせんや。若し佛國の意志が、米國の形勢に氣兼ねし、之を觀望しつゝ、ありとすれば、其不心得も又甚だしと云はざるべからず。講和條約には、一米國に氣兼ねすべしと云ふ規定は無き筈也。吾人は來月一日より施行說の、虛報ならざらんことを希望する者也。
◇米國に於ける過激派的陰謀は、尙依然として計畫せられ、屢々吾人の耳朶を撲つべき報道は、彼のクリスマスを期して大陰謀の如き其の一也。上には自ら米國の無援孤立を敢てせんとする政客のあるあり、下には跳梁の如き過激派は虎視眈々として其牙を磨く、ウイルソン君の心痛には同情を禁ぜざるも、自ら火を吹きて起したる大火なれば、自ら消防に努むるは當然也。而も其延燒を恐れて、暫らく火勢を觀望する者に對しては、世界は叱咤其猛省を促さざるべからず。
◇露國の過激派は益々其士氣を堅めんとし、獨逸の軍閥派は猛然として軍閥恢復を計畫す、米國は維持の援戰を以て紛糾し露國は鮮血を塗つて混亂したる、講和條約が來月一日より施行せらるゝも、其が事實上平和の保證たるか否かは疑はし。兹に於て世界大戰の放火者は其の責任愈々重く、益々糾命せざるべからざる也。

商業登記公告
一株式會社朝鮮殖産銀行（變更）慶尙北道尙州郡尙州面城下里拾六番地ノ四ニアル支店ヲ大正八年拾壹月拾七日左ノ處へ移轉シタリ
慶尙北道尙州郡尙州面城下里拾番地ノ壹拾參番地ノ貳
一株式會社仁川米豆取引所（變更）
取締役古城菅堂ハ大正八年七月四日住所ヲ左ノ處ニ移轉シタリ
京城府杏村洞百七拾壹番地
監査役天日常次郎、白神專一、布井嘉造、齋藤久太郎、丁致國、丁致奎ハ任期滿了ノ處天日常次郎、丁致奎、齋藤久太郎、白神專一、丁致國ハ大正八年拾壹月拾日各重任シ左ノ者同日監査役ニ就任シタリ
京城府大和町貳丁目百貳番地 原勝一
右大正八年拾壹月貳拾壹日登記
京城地方法院仁川支廳

中古品上等 廿五磅廿磅混合 八百噸
レール
汽機 汽筒徑拾一吋 ストロック十四吋 壹台
同上 汽筒徑六吋 ストロック十二吋 壹台
クレオート 防腐劑 割安に販賣す御商談を乞ふ
大日本防腐劑會社代理店 京城南大門通五丁目
諸器械金物商 中村幸商店 電話三七一番

宇治 茶 自園
玉露 白折 煎茶 番茶
美濃部降福堂
定價表御申越次第早速進呈致候 但特約賣捌店御希望の方には特に御相談仕候間御一報被下度候
京都市柳馬場綾小路南入 電話下一八八二 振替大阪五一六七

電話格安譲ル ▲急告▼ 仁川宮町 楠本文治郎

宮内省御用 TRADEMARK
水道 布設 煖房 装置 衛生 設備 喞筒 据付 工事 設計 請負 附屬 材料 輸入 製作 販賣
須賀商會大連出張所
大連市監部通二丁目（露亞銀行前）
（本店）大阪（支店・出張所）東京・名古屋・京都・住吉・神戸・博多・京城・青島・臺北
工作所……東京……大阪……神戸

精米業、質屋業 穀糠、朝鮮古錢 券賣買
京城府本町四丁目 佐野仁作商店 電話一四九二番

新家庭 十二月號
極彩色口繪一枚、三色版二枚、二色版二枚 コロタイプ 寫眞と名流美人の寫眞を滿載
長篇小說 くれなゐ……田山花袋
長篇小說 しぐれ唄……長田幹彥
隨筆 私へ來た手紙……大泉黑石
滑稽小說 裏町の花……東健而
雜錄 モデル娘物語……信田葛葉
流行界の鳥瞰……平山蘆江 するせん
三人孤兒（家庭童話）……小林愛雄
冬季の美容法……北原十三男
八百善の料理通（含秘傳）……岡野知十
お裏所料理の話……岸上操
溫室の花と溫室の作り方……篠原長吉
其他興味ある有益な記事滿載されてゐます
定價一部五十錢 東京芝公園 玄文社

學生募集 京城自動車講習所
本講習所は京畿道知事認可にして東洋一として著名なる東京自動車學校之を監督し本校と同等に自動車運轉手▲技師▲販賣員其他世界的に自動車業務に從事するに必要なる學術技術を授く
●規則 專科●實習科●校外生科の三科を設け專科は毎月十五日新學期を開始し二ヶ月卒業とす入學は內鮮何人を問はず初學者を無試驗許可す學資金は入學より卒業迄二ヶ月の入學金授業料書籍代及自動車運轉練習の費用等合計金百卅圓にて入學の際前納せしむ實習科も毎月十五日新學期開始一ヶ月卒業とす入學は本校の校外生卒業者又は多少自動車智識を有するものは無試驗許可し主として自動車の運轉練習を教授す此費用は九十七圓前納とす●校外生科は何人をも隨時入學を許可し卒業期間を定めず最初四圓を前納せしむ本業を望む者は授業料の全額拾七圓を前納すれば全部の教科書を一時に送附して速に卒業せしむ
注意 右の學資金は內地に遊學する旅費に過ぎず且內地語の不明なるものには鮮人教師を以て質問に應じ又は學術不良と認むるものには卒業後別に學資金を徵收せず研究せしむ
●內地に遊學を望む者は東京本校及大阪、福岡の各分校に入學する事を得規則書は申込次第送付
京城府黃金町三丁目角 振替口座京城七一八八番●電話長二一三〇番

日本信託銀行株特別提供
信託銀行中の權威として最大の活動範圍と絶大の權力を有し然も大阪株式取引所及上海取引所の別働隊とも目すべき特殊の機能を具備せる日本信託銀行は壹萬株の申込に對し僅に五株の割當豫想さるゝ盛況にして殆んど千幾百倍の應募數あり從て將來の活躍振りや大株上海取引所に追從する處あるべく今日より賣買旺盛にして驚くべき數量に達しつゝあり弊店は此の際特殊關係者より少數引受株を平素の御顧に酬ひ奉るべき存念の下に提供豫約仕候條至急御申越被下度候（提供詳細說明書申込次第送呈）
銀行、土地株專門 電氣、紡績
大阪市東區今橋壹丁目 萬屋 八百豐吉商店
電話本局一八五〇番二八〇六番 受信略語（ヤ）又ハ（ヤオ） 發信略語（オサカヤオヨロ） 振替口座大阪四九一〇九番

新線營業開始
全線列車運轉時刻改正
來る十二月一日より
咸鏡線南部 永興咸興間（四三哩一分）
中間停車場 馬場、旺場、新上、富坪、定平、興上
來る十二月十五日より
咸鏡線北部 輸城羅南間（九哩三分）
來る十二月十日より
南滿洲鐵道株式會社

攻防演習觀戰記 第一信

冰風に擲られながら漢江の河原を演習地に

國民よ、艱苦が安眠を得るは何が故ぞ
乞ふ將卒の勞を汲め!

統監部陣營地にて　矢橋特派員

汝矣山の演習地に向ふべく二十四日午後六時少し前、鷺梁津に吐き出された私は寫眞班の丁君と構内を出た。

此頃の木枯 に名殘なく吹き捲られた冬木立を通して細い弱の眉のやうな二日月が優しく覗いてゐるが、もう日はとつぷり暮て足元は明瞭しない、何でも河原に降りたら演習地の方向も分るだらうと土手を斜めに下ると此處は芋畑の跡と見わ一面に蹴居して、畏のやうに擲ばか私達の足を攫はんとした

落葉を踏み つゝ辛うじて土手を下り辭を逆さにしたやうに黒帯んだ空に突立つてゐる枯木の林に這入ると、其所には黒い大きな獸のやうな物が佇はつてゐた、闇に透して見ると正しく野砲が二門。

『砲兵陣地だね』

と私が呟くと、突如闇から大きな凛とした聲で

『誰か』

と咎めた。砲兵の監視兵である。

『新聞記者!』

名乘つて林間を通抜けると其所はもう

漢江の河原 で眞白な砂は宛ら西伯利の氷原のやうに廣く足元に展開してゐる。白い息は私達の口元を廻つた。ざく〳〵と砲車の轍の後を便り砂を踏みしめながら進むのであるが、砂が深い爲めに一尺進んでは五寸退り、容易に足が運ばれぬ、凍らむばかりの漢江の水を啜める風は遠慮會釋もなく私達の片頰を擲り付ける。此うした寒い晩に、演習とは云ひながら

土を掘り 岩を碎き土壘を築き堡壘を築き、地に伏し寒風に曝されあらゆる辛苦缺乏と戰ふ兵を思つては、屋内にあつて爐邊を圍みながら獨り旅の寒さを喞つのは餘りに贅澤である彼等が斯く辛苦するのは云ふ迄もなく

國民をして 安眠ならしむるが爲めである。折柄遠くで銃聲がパチ〳〵聞ゆる、私は直おのづから噤られて、い足を急に忙しさうに動かした

老人が若返る

米國監獄醫の新實驗

米國の加州監獄醫スタンレー及ケルカー兩氏は人間の腦の活動は間隙腺及同腺の分泌液が微妙なる作用を起して腦を潤濕させぬに依るもので是を

壯年者 の腦から採つて老衰者に移植すれば老人も忽ち元氣を恢復し壯年者と異らぬ活潑な人となると云ふ佛國の醫學大家ブロノーフ博士の學說を實地に應用す可き第一試驗として去月二十日加州監獄の

死刑囚 姑殺し犯人ベロンと云ふもの、睾丸の間隙腺を摘出して衰弱した某老人に移殖實驗した所果して學說の如く効驗著しく其後監獄病院にて十餘人に實驗を試みたが孰れも

好結果 を得たので醫界の大家を立會はせ今回愈々之を發表するに至つたのだと云ふ

本因坊支那から歸る

段氏と二十二回の手合

二十二日午前十時神戸入港の日本郵船佐渡丸にて上海より歸朝したる本因坊は語る『釜山を振り出しに大連に寄り旅順に肅親王を訪ひ二日滯在して二回碁を闘はした、肅親王は私からの

免狀を 有つて居る關係上非常に優遇された、夫から十月十日北京に段祺瑞氏を訪ふべく入京したが段氏は碁に熱心な人で隨分研究されてゐる、初段か二段位の腕は確にある第一從いて居る高官連が非常に熱心で段氏と自分との勝負を始終見て居た、毎日段氏の屋敷で午前九時頃から午後三四時頃まで一局か二局を打ち合計二十二度闘はした、途中風邪に罹つて廿日間の豫定の所

二三日 遲れて十一月二日に北京を引揚げたそれより天津の日本人倶樂部大東ホテルの碁會に臨み上海にて高部五段に分れた碁は元來支那が本場で日本は輸入されたものであるが其後支那人は餘技にして專門的に研究する者がなかつた結果が斯うなつたので是から我々專門家が行つて大いに活動する必要がある段氏は別に政治的の

交渉も 談話もしなかつたが斯した方面から日支親善を企つるも宜らうと思ふ』（神戸）

過激派以上の敵

西伯利に惡感冒猖獗

昨年に比し死亡率は尠し
滿洲駐屯軍にも患者續出

二十四日其筋に達したる情報に依れば西伯利に於ける流行性感冒は十一月初旬より發生し頗る猛烈なる勢ひを以て蔓延し第五師團管下のみにても初發以來十三日迄に約四百名の患者を出だし肺炎を併發するもの亦尠からざるも

死亡率は 昨年に比し稍尠く僅に十數名に過ぎず西伯利派遣軍にては過激派以上の大敵と爲し目下防疫に努めつゝあるもインフルエンザ菌は澎湃として襲來し其當分は終熄を見る能はざるべしと又滿洲にも惡感冒

流行の兆 あり參天虎石溝范家屯長春各獨立守備隊駐屯師團にも十四日迄に初發以來七十八名の患者を出だし内六名は肺炎を併發し一名は死亡したりと益々猖獗を極むべく各隊にありては目下防疫に腐心しつゝありと右に付き

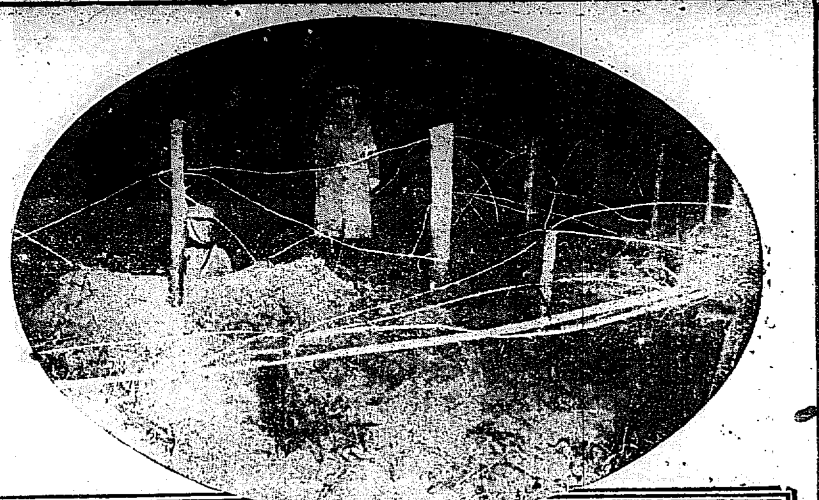
陸軍當局 は語る『インフルエンザの病原は未だ確定せざるもインフルエンザ菌と肺炎双球菌とは常にインフルエンザ患者の多數に於て檢せらる、のみならず其の經過を不良ならしむる處のインフルエンザ肺炎の場合に於ては例令或は第二次感冒にもせよ

重要なる 意義を有するものなるべしとは多數學者の認むる處にして此の兩種の細菌は共に之を動物體に接種せば免疫體を產出せしめ得る事も亦學者の立證するところなり故に擬に世界的流行に際し我國並に歐米諸國に於て主として

此兩種を 用ゐて豫防ワクチン或は混合ワクチンを製しこれを本病豫防に應用したる者少からざるは文獻の報ずる處なり接種後の反應症狀に就きては特記すべきものなく其豫防効果に至りては實驗者の

報告區々 なるも混合ワクチンはインフルエンザ疾患特にインフルエンザ肺炎に對し多少効果の期待すべきものありと認めらる、今や再びインフルエンザ襲來の秋に當り他に適切

確實なる 豫防法乏しきに鑑み流行地方にありては他の豫防法と併せて該混合豫防接種を行ひ機宜の措置を執り居れり』と云々



汝矣島の攻防演習
（上）防禦軍の陣地　立てるは横澤審判官（下）統監部の露營
向つて右より松山軍醫正・堀田統監・漆戸中佐・本社特派員・横澤少佐

出征する山本大佐

趣味は玉突きと圍碁

『未だ確かな事は判らない』と云ひながら其頰には包み切れぬ嬉しさが

軍參謀山本鶴一大佐が浦鹽派遣軍參謀に榮轉の内命が下つたと聞き師司令部の參謀室をノックすると山本參謀は頻りに各方面から來る

情報に眼 を通してゐた『お目出度う!』と云ふと『唯内命だけで未だ確かな事は分らない』と巧に外してはゐるものの其頰には包み切れぬ悦しさが溢れてゐる『愈々征くとなると

八日頃に 出發する積りだ、幸ひ朝鮮の冬を二度迎へて寒さには十分訓練してあるから浦鹽へ行つても先づ大丈夫だと思ふ、それでも住み馴れた朝鮮に別れるかと思ふと何となく名殘りが惜まれるよ』と穩かな微笑を絶やさず見せた、山本大佐は明治三十一年六月任官し

陸軍大學 出身後は常に要職にのみ就てゐた明治四十五年英國留學を命ぜられ浦鹽を振出しに露獨白佛等に遊び英國に滯在中歐洲大戰の火の手上がり氏は英軍に從ひ親しく觀戰武官として西部戰線を親しく視大正五年の秋歸朝すると間もなく

再び印度 に出張を命ぜられ歸朝後第一師團甲府聯隊附中佐として聯隊勤務を執り間もなく朝鮮軍參謀に轉じたのである、至つて穩かな人で嘗て怒つた色を見せた事がない學務の餘暇は碁、球突等に樂み碁は

田舍初段 の内野辮勇將軍に三目もおかせた位の腕である、球は三百是は洋行中訓練の結果であらう、酒は弱い方であるが嫌ひで無く飮めば必ず嬉々として直ぐ醉つて仕舞ふ島根縣の出身で騎兵の稻垣（少將）工兵の鈴田（少將）步兵の山本と[illegible]の三傑として其の有望なる將來を期待されてゐる本年僅に四十四の働き盛りである

活動寫眞

防疫用の
府廳の試み

京城府廳では防疫上活動寫眞器械の必要を感じ過般大澤商會へアーバン新式一號の器械を註文中であつたが此程現品が府廳に到着した常設館用としても恥ない立派なもので瓦斯電燈共に使用し得る相であるフイルムは虎疫、チブス、赤痢の各種防疫を目的とするもので面白い新派劇に仕組んだ三千七百尺の長尺物であるが之は近々到着次第府廳に於て封切映寫をする由

南米倉町の虎疫は眞正

今の處蔓延の模樣なし

二十四日疑似虎疫と診定されし南米倉町百一番地西森よね（三）は糞便檢鏡の結果二十五日眞正虎疫と確定したり因に目下の處他に蔓延の模樣なし

正誤　二十四日夕刊所報旭町一丁目に發生せる虎疫患者は全く誤聞にて患者は前田某方の二階借を爲し居れるものなる由に就き訂正す

町總代の家で豫防注射

奮つて受けよ

虎疫襲來で滿都大恐慌を來し府廳では府尹以下防疫に努めてゐるが廿四日の夜は急に府内の町洞總代を招集し虎疫の豫防接種を勵行する事に關して凝議した結果廿九日より取敢ず内地人各町洞總代の自宅で豫防接種を實行する事となつた右に關して府當局は語る『府内の豫防接種人口は約五萬人であるから殘余の廿五萬人は虎疫傳染の可能率を持つてゐる事になるので全會町洞總代の自宅で之を勵行する事にしたのです寒いからと云つて油斷したら取返しの付かぬ事になるから未だ接種を終つてゐない人は奮つて豫防を受けて欲しい』

電話線不通

京城釜山間

二十四日午後より京釜間電話に障碍あり二十五日朝頃まで復舊見込無し（釜山特電）

助産婦看護婦の卒業式

龍山鐵道病院にては二十五日午後一時より新築本館樓上講堂に於て第二期助産婦第八期看護婦の卒業式を擧行したるが佐々木院長の挨拶學事報告賞品授與ありて終つて別室に於て茶菓の饗應ありて散會したるが助産婦は創立以來養成したるもの十一名卒業したるもの六名中二名本町卒業後引續き在勤せるもの五名死亡者一名にして又看護婦は創立以來養成したるもの七十三名卒業者五十四名教育中の者十名引續き在勤の者二十名他に轉じたる者十六名結婚者十二名死亡一名不明一名なりと

一夜に二箇所の火事

何れも半燒で濟む

仁川花町里三丸金福書方より二十四日午前二時出火し又同三時栗木里一二五朴允明方より出火せしも何れも半燒にて消止む原因は二軒とも溫突の火の不始末による（仁川）

出火頻々

二十五日午前二時十分頃府内崇仁洞六十八番地韓山漢金旋鏡方より發火したれば急報に接し南大門及び黄金町消防隊より驅せ付け活動したる結果同家瓦葺二十坪を燒失同五十分頃鎭火したり原因は溫突焚火の不始末にして損害八百五十六圓位の見込なりと尚午前六時頃西大門町一丁目七番地酒製造業柳志衡方より發火したれば大門消防隊驅せ付け直ちに消止めたり原因は溫突煙突損所より漏火したるものなりと損害二十圓の見込みなりと

拔き荷

高陽郡崇仁面獨谷里金奥植（二九）は本月十七日南大門停車場構内に於て荷物運搬に從事中南大門五丁目三十七番地協同組の取扱ひに係る御行李よりメリヤス襯衣を拔き出し所持し居たるを金鱗書に發見追跡されたるより該品を放り出したる儘自宅に逃來り潛伏中を本町署の手に逮捕され二十二日檢事局に送らる

消防講話會

日の出小學校では廿四日午後四時より同校講堂に於て火氣取締に關する講話會を催し京城道三部消防主任小熊部長の火災に關する講話あり學校組合議員田中半四郎氏も一場の講話をなしたるが聽衆は府内各學校の職員其他にして盛會なりき

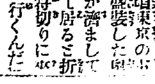
列車延着

二十四日夜南大門通過の奉天發釜山行急行列車は安養線に於ける途中故障の爲め二時間餘を遲れ到着したるを以て別に定刻南大門を特發運轉せしめたり

○元町校の新築工事　府内元町小學校は燒失後新築工事を急ぎつゝあり年内には竣工の見込にて大部分は出來上がりたるも其後の工事捗取らず學は越年後竣工する由但し來學期迄には間に合ふ見込なりと

紹介

カナヘ商會の新事業　京城府元町二丁目に其の店舖を有する同商會は岡本宇之助氏の經營にして從來鐵道用品各種殊に鐵工礦山用諸機械器具之に付随する工具品及石綿パッキン材料其他電氣用品の販賣をなしつゝありしが更に本年羊印ショベルの一手販賣を開始し尚業務擴張の爲新に日本製麻株式會社後援のもとに該社製品なる各種麻類天幕其他麻織帆布類の加工工場を本社隣接地に新築しこれを龍山シート製作所と稱へ既に在内地よりの輸入製品に對抗するの目的を以て頗る迅速に然も多年經驗に富める職工を使役し一般需要家の注文に應ずる由



此の頃東京の電車に盛裝した奧サンが濟まして乘つて居ると折柄切符切りに來た車掌が『オイ何處へ行く〳〵んだ』と亂暴な口のきゝ方をしたので▲乘合せた一大學生が承知せずキになつて詰責すると奧サンは頻りにモジ〳〵▲車掌君は赤い顏をしながら『アレは私の家内です』以て勞働者の鼻息を覗ふべし▲今夜出發の時永事務官は尋常の歐米視察のみが目的でなく今度の行は一種の宣傳を兼ねて居るのだそうだ

秋季歌留多大會

會期　十一月卅日午前正十時より
會場　南山町梅の家樓上大廣間
會費　金五十錢（當日持參の事）

出場資格を問はず參加を歡迎す
一般の觀覽は無論隨意なり

主催　京城日報社

連絡船上陸客

□人吉、本兼吉、中川滿、内藤明、同ふ[illegible]、前田豊一、須藤要次郎、兵信吉、三原安留、森虎一、[illegible]

仁川期米

二十五日後場

[illegible]

圓豆粕使用者に告ぐ

豊年撒豆粕と圓豆粕との比較

一、成分豊富

豊年撒豆粕壹袋（百斤）は圓豆粕貳枚七分乃至參枚と同樣の效果があります

二、使用の簡易及經濟的なる事

豊年撒豆粕は其儘直に使用出來ますから其使用者は圓豆粕使用者が圓豆粕粉碎の爲に貴重なる時間と勞力を空費して居る間に繩叺等の生産に從事することが出來ます

京城本町二丁目
合名會社鈴木商店京城支店　穀肥部

鎭靜催眠劑 カルモチン

臨床實驗
醫學博士 山田鐵藏氏　醫學博士 佐藤四郎氏　醫學士 荒井恒雄氏　醫學士 小川六三郎氏
醫學士 巽島[illegible]輔氏　醫學士 橋健行氏　醫學士 佐藤惇一氏
外數氏の臨床的報文を有す。別刷あり郵呈す。

（特長）全然無害（普通藥に屬す）にして持久するも胃障害其他の副作用なく又習慣性なし。
（適應症）神經衰弱、ヒステリー、神經性不眠、就眠困難、常習性頭痛、肺結核患者の亢奮狀態、姙娠嘔吐、船醉豫防等
（包裝）錠末二十五瓦入（金四圓）十瓦入（金一圓七拾五錢）錠劑十五個入（金八十五錢）五十錠入（金貳圓參十五錢）（外に錠末百五十瓦入あり）

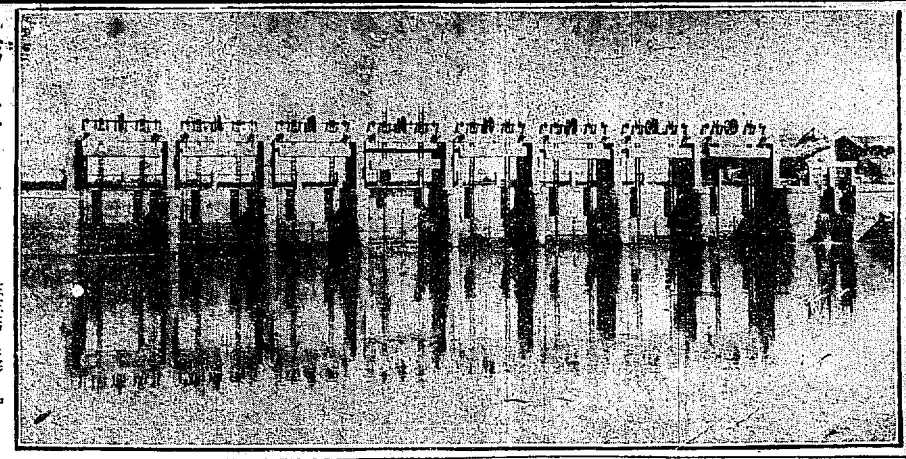
發賣元　大阪市東區道修町　武田長兵衛商店
電話本局二二〇四　二二五〇　二八八六　三一四四　振替口座大阪二六二番

理想の萬年ペン ウオーターマン 新荷着

セエフチー萬年ペン
四十二號　六圓五十錢
七百四十二號 十八金卷　八圓五十錢
安 全
萬年ペンカタログ申込次第進呈

京城本町　篠崎文具店

[illegible]本城あい、杉内鶴蔵、投本儀任、佐野勝次郎、外大拾壹名同秋子、本吉増太郎、[illegible]山崎與吉、[illegible]佐伯審太、[illegible]



古阜（全北）水利組合の八旺閘門（受利區域　高敞、井邑、扶安三郡の耕地四千町歩　貯水地　三百十町、水深九尺四寸）

第五版

奥地は平穏なり
―織田平南道知事談―

織田平安南道知事は就任第一回の巡視として此程管内江東成川陽德の三郡を視察し歸任せしが同地の狀況に就て左の如く語れり。今回は江東成川陽德三郡を巡視したるが平元街路は民心の傾向比較的静穏にして今日別に不穏の言動を爲すものなし農民は今夏の旱魃に多少の打撃を受けたるもの、如きも、

旱魃に凶災なし

この際の如く農家に於ては白下馬鈴薯其他の副産物及甕韈其他副業の收穫に左程の苦痛なき模樣なり警備機關の改正に就いて警察職員の更迭に際し警察事故の頻出如何あらんかとの懸念なきに非ず居然塲の取締は一般人民に便利を與ふることに爲し來りたり又内鮮人の無差別、學校先生徒の言動については別に問ふ程の事もなし要するに該地方の人民には此の如き

事情に通ぜざる

もの、如く殊に耶蘇教信者の如く陽德郡は天道教徒盛んなるも今次以來萬歳の爲め當局官憲の取締に依り教徒減少し爲めに

勢力衰退に傾き

つゝあれば排日思想等は今日のところ問ふ程のことなし過般郡守會議に於ても此等の事柄に就いては徹底的に訓示し置きたれば今後に於ては郡守警察署長共協力して專ら新政の効果を擧ぐることゝ信ずる

馬賊に捕はれし邦人（續）
神ならぬ身の露らぬ運命の前に
曳かれ行く晝猶暗き密林の山道

左に掲ぐるは殘忍なる馬賊の人質として捕はれたる遭難者寧古塔地外東拓職員横地信果氏の手記續稿也

明くる十日恐ろしい運命が目前に迫つて居るとは露知らぬ一行は明け易い山腹の小屋から起き出で、顔を洗ひ今日の旅程を話しつゝ朝食を濟ましたのは八時過ぎで出發の準備をして居る時如獵師體の長銃を手にした一人が入つて來るこ

見る間に續いて

二人三人其の内の一人が我等は九人だと主人の間に答へつゝ炊事を命じ其間予の同行支那人に人數、商賣、目的、行先等を聞いた上寧古塔までの行程は遠いから先に出發したら宜いだらうと切に勸めるので十一時

彼等に先だつて

小屋を出でヒタ降りに、田把頭を先頭に鈴木、梅本氏二三町遅れて佐藤、宮崎兩氏及予と（宮崎氏は足を痛めて居た故）記者が最後に京潤の順に走つた田把頭は小屋で賊共に話しかけて一日を少しでも遠ざからしめやう

計畫にて殘つた

小屋を離れるこ支那人は『形勢不穏だから駆けよ〳〵』この事に一行は飛ぶやうに山を降つて走るこ三十五六町突然右の道側から『汝等は死ぬのが恐くは無いのか』この一言に振返るこ銃を手にした賊の一名で後にも二名居つて直ちに引返す樣命ぜられた

萬事休す從はねば死がある許り

唯々諾々こ山腹の小屋に引戾されて待つ事二十分程先の三人も大派捕く遂に逃げ負うせず還つて來た、頭目は『銃器を持つて居るだらう』「全然持たぬ」茲で身體檢査は行はれ佐藤梅本兩氏の

時計を先奪はれ

紐に續いて宮崎、佐藤氏、予、鈴木梅本氏の順に縛された、午後二時昨夜の我等の宿泊地に向ふ爲把頭を道案内こして出發の合圖こ共に前後を嚴重に警戒して昨日自由に歩いた道も今日は屠所の羊こ東に向ふ事こなつた

世間で見る程になき
滿鐵社員の懐ろ
――延も爲る所の騒ぎでないこ社員の述懐――

滿鐵會社に於ける今度の増給に對しては大分世間で噂の種になつた樣であるが實際に立入つて見るこ世間で思ふ程でもない、一滿鐵社員の曰く『今度の増給で生活費がゞノ位餘裕ができたかを聞いて戴きたい二通りの標準で話すこ

職員の

最下給者が子供一人こ妻帶者こするに改正前の月收總額は六十八圓でしたが今度家族手當を加へて百二十圓位の勘定ですが増給こ共に差引五十二圓餘の増收額になる給料から差引かれる支出の種々が増額した爲め電燈や石炭代一噸四圓五十錢高ら初め公租月額一圓二十錢身元保證金六圓餘共濟金一圓九十錢餘其の他入浴代出張費納稅費こか細かなものを加算するこ月額十五圓餘の増加で結局月三十七圓の増收です之れで家族三人が際限なく昂騰する生活費と闘はねばなりませぬ

日給者

はまだ〳〵此同上です日給一圓の者が妻こ子供一人あるこするこ改正前の全勤月收額は四十五圓でしたが今度家族手當を加へて七十一圓餘になりますが之れも前述の控除を引しますこ結局月收増加の正味は十八圓餘りこなります尤も身元保證金や預金は自己の貯蓄も同一ですから其増額は結局私達の幸福の増加ですが現在の物價狀態ではごうして一杯畜るごころの騒ぎではありませぬ（鎮南浦）

修學旅行記
第十通信
京城中學校教員養生所　池田生

淡いまどろみから醒めるこ車中はひつそりこして誰も不安な眠りに落ちて汽車の動搖する音ばかりがきこゆる。頭がにんじんなつて再びまごろむこことは出來ないが眼をあけてゐる事も出來ない。寂しい旅情は靜々こ味はれる。不安な手に時計をさぐるこまだ四時である。

何時いつの間にか眠りに落ちたらしい。眼を外へ向けるこ名古屋の金城が朝霧の中にほのかに見ゆる。岐阜も過ぐる頃こなれば關ケ原の古戰塲、不破の關跡ありて近江の湖も見え初めた。粟津の青嵐、瀨多の長橋も窓より眺め左右の友こ語りつゝ内京都に着いた。

驛から宿まで歩いたが京都の市街は私等に美しい印象を與へることを忘れなかつた。静かなそうして優雅な町!!私こしては、はきはきこ活潑な帝都の人よりもやさしい或る程の遠遠讃勝の古都の人がなつかしいのであつた。

西岡恩賜や八阪神社等へ參拜の後圓山公園に遊んだ。しだれ櫻は名高い夜櫻をおもはせる祇園の舞妓が泣きに行くてふ清水の舞臺に立つこ下には紅葉が一面に照り映へて美しい秋の色を現はしてゐる。西大谷、三十三間堂、東西本願寺等を見て宿へ歸つたのは五時過ぎであつた六時半頃から靜かな灯の町を散歩した。加茂川の流にうつされた灯の光りは美しいさゞめきを立てゝ居る。

旅なればいづ地いづこもわかねども我名呼ぶみて寂しくなりぬ

十二日京都電車で伏見桃山の御陵へ參拜して敬虔の念に打たれた。乃木神社へ詣でては旅順攻圍軍司令部のおかれた家即ち乃木大將が二萬の兵士をにわにして悪戰苦闘された民家を目のあたり眺めて感涙を催さずには居れなかつた。

それから御所大宮御所仙洞御所を一々拜觀した。秋雨はしとしこ降り出して一入神さびた感しかして敬ひの念を増した。

それから北野天滿宮、金閣寺に參拜した。金閣寺の寶物の説明の人の語調には面白いものがあつた。おごりを極めた義滿の生業はさすがに人こ異つて居た寂しい雨も止んで仕舞ふこ夕暗も迫つて來て雨後の灯の町はまた特別の美しさであつた。

商況
株式

大阪株式（至急電報）

銘柄	二十四日後場大引	二十五日前場寄付
大株	四五〇、〇〇	四五〇、〇〇
同新	四五二、七〇	四四七、〇〇
東株	二五〇、八〇	二五一、三〇
同新	一四一、三〇	一四一、三〇
商船	一六一、九〇	一六三、〇〇
同新	一四四、九〇	一四七、九〇
鐘紡	四三五、一〇	四三八、五〇
同新	四二四、一〇	四二三、〇〇
東紡	三一〇、一〇	三二三、一〇
東糖	一六二、二〇	一六二、一〇
東米	一八九、〇〇	一八九、九〇
上取	一九六、七〇	一九六、二〇

京城現株（標準値段）
▲印騰貴　△印下落

銘柄	拂込額	標準
仁取	[illegible]	一八三、〇〇
朝郵	[illegible]	四二、〇〇
電興	[illegible]	△一六、五〇
皮革	[illegible]	二五、五〇
東畜	[illegible]	二六、〇〇
朝紡	[illegible]	△三八、〇〇
製紙	[illegible]	三七、〇〇
商銀	[illegible]	五六、五〇
同新	[illegible]	一八、〇〇
精毛	[illegible]	五二、〇〇
燐寸	[illegible]	三二、五〇
鮮土	[illegible]	一七、五〇
東亞	[illegible]	四四、〇〇
中鐵	[illegible]	一五、五〇
朝鐵	[illegible]	一七、〇〇
同日	[illegible]	一三、五〇
安信	[illegible]	四一、〇〇

出來高平均値

銘柄	平均値	枚數
鮮銀新	二四〇、〇〇	三〇〇
朝鮮紡織	三九、〇〇	一三〇
東洋製糖	一六二、〇〇	二〇〇
殖産銀行	一一五、〇〇	二九〇
安東信託	四一、五〇	六〇〇
正金銀行	一三一、〇〇	一〇〇
大株新	四四二、〇〇	[illegible]
東亞新	一七、〇〇	[illegible]
西鮮殖鐵	[illegible]	[illegible]
朝鮮電興	[illegible]	[illegible]
京電新	[illegible]	[illegible]

鐘紡益々高し
最近紡績株好調の中にも特に鐘紡は既報の如く大暴騰を演じ居れるが今寄電も親四百三十八圓五十錢を含みて大暴騰を演じ居れるが二十二圓こ入れ二十二日の休日前に比し新舊共二日間に四十圓方の奔騰を示せり

仁取伸悩む
仁取株は目下買値八十一圓賣値八十三四圓を唱へ居れども金融關係の爲めか商内割合に活潑ならずして他株に比して買賣の開き多きは投機株の常こして敢て異こするに足らざるも何分値嵩が値嵩だけに少しく思ひ切つたる思惑をせんこすれば少からざる資金を要する處より目前何等悲觀材料無きのみか出來高激増に伴ふ收益増加を見越されながら目下躊躇の振合あり旁々八十三圓以上の買物は可なりに潜在し居る模樣もありて玆暫く伸悩みの體なり

鮮銀居据る
朝鮮銀行株は茲兩三日値動きを見ず親二百六十五圓新四十圓處に居据り居りて買氣も餘り強からざるもの、如し

殖銀保合ふ
殖銀株は昨日こ變らず人氣餘り引立たざるも安値は據かさず賣拾はれて尚ほ十四五圓の間に相應手合せあり此値の掉尾の飛躍を見るは十二月中旬ならんこ觀測する向あれば玆當分は前記の値頃に保合はんかこ云ふ

滿糖下遊り
南滿糖は這般の砂糖株高に四十圓擢みより四十四圓に昂騰して以來他株に比し反落の度少なく依然四十四圓五十錢見當を維持して下遊りつゝあり從つて當地は五圓處を唱へられ居れり

公債株式現物問屋
京城府大和町二丁目（府廳東側）
㊞角中商會
店主　中河原重吉
電話長一五六七番
振替口座京城四八四一

電興更に安し
電興株は久しく氣乘薄の折柄こて賣ものあらんこすれば無碍に叩かれる振合あり今朝の商内も又前値より二十錢方の安値こなり茲に再び豪變りを演じ十六圓處に落込みたるが買氣更に引立たざ

公債株式現物問屋
京城永樂町二丁目
丸五商會　有田長商店
電話長一四九八番

製綿買氣立つ
朝鮮製綿は今期一割五分の配當を爲す由にて此五日來頓に買氣を催し幾頃迄二十二圓見當の手合せなりしが今朝は四五圓處を唱へられ居たり之れが買墓は原因こして一部に傳ふる處に依れば同社は現資本金五十萬圓にては不足を訴へ今同倍額若しくは三倍增資の必要に迫られ居れり若し右增資にして不可能なれば實際解散すべしこの意向もある由にて斯くなれば會社の現財産は諸機械類の値上りに依りて有利に處分さるべしこ

朝煙底固し
朝鮮煙草は東亞煙草の底意軟弱なるに比し割合に强調を維持し三十三圓に底堅く保合ひ居れるが右は從來無配當なりし者が果も角も八朱の配當を揭し得るに立直りたるプレミアムこして今後の成績如何に依りては更に三圓位にも昂騰すべしこ而して東亞煙草は朝鮮煙草の力の頭に遙かに記憶きたる振合あり現四圓見當に多くの買賣を見つも尚も東京方面にては殆んご相手なき有樣なり

安信買氣強し
安東信託は昨夕刊安東電報の如く同地に於ける株式現物團成立したるを以て愈々今二十五日より證券部に於いて其の取引を開始する事こなれる由なるがこれが爲め同地に於ける氣配滅切高く前日三十九圓五十錢擢みなりし同株は忽ち四十圓を突破せりこあり當地も之れを移して今朝來四十二圓五十錢見當を唱ふるに至れるが右取引成績如何によりては尚一層高張るべく從來の一割の豫想せられたる位なれば今回の證券部開設追つては米穀部等の開設を見るに至らば純然たる取引所の形體を具備するこ共に其株價も意外の飛躍を演ずべしこ稍せられ買氣侮り難きものあり

浦長商會
確實なる利殖法は確實なる株に投資せらるゝに限る御出資に御用命の御方は少額にても殘餘は低利信託の御相談に應す
京城南大門通二ノ三一
㋒浦長商會
電話長一七三七番
電話一二五七番
受信略號ケイサウラウ
仁川仲町二丁目電話六九　仁川支店
元山仲町電話三〇番　元山支店

朝紡落付く
朝鮮紡織は昨入電三十八圓を報じ次第安の姿こして一般の觀測も漸次弱氣に傾きつゝあるが如し而して此儀で一氣に三十四五圓迄下押さんか押目狙ひの買物再び現はるべければ其の反動は益し前高値を拔くべきも之れに反して此儀居据るこすれば其の伸力は餘りに强からざるべしこ見る者多きが如し

米況

東京期米特電
二十五日前場
當限寄付　四十六圓丁度
中限寄付　四十五圓五十錢
二十五日　寄付　四九、五〇

大阪期米特電
二十五日前場
當限寄付　四十五圓九十九錢
中限寄付　五十五圓八十九錢
二十五日前場　寄付　四九、七〇

神戸期米特電
二十五日前場
寄付　四九、七五

下關期米特電
二十五日前場
（時）押目買旺盛反撥強し

仁川期米
二十五日前場

[illegible]

前日より場面は總買ひの折柄から市場の注目こなりし中限の解合談不調の爲賣方一派は先限に手を延して人爲的に相場を釣上げ場面を支へんこする東戰買ひに人氣は强硬こなり立會は當限四十五圓二十五錢安に寄付し先限四十八圓三十五錢方の暴騰を演じ二錢こ殺人相塲こなり先限七十四錢迄の奇騰を演じ來れり

▲第二節　當中出來不申先六十八錢より七十錢こ引緩まり割高思ひの賣物に二十九錢こ蹴落されたるが押目買に三十五錢こ戻して引

▲第三節　當中出來不申先二十五錢より三十五、こ押目待ちの賣物に上伸せしも跡正米この採算押しより一錢掴みを採合ひ折柄大阪前場五十丁高の四十九圓七十錢の早耳に押目買に續いて三十八錢こなり更に四十錢と返し三十八く買ひ小爭ひこなり四十錢こ手堅く

▲第四節　當中出來不申先六十錢こ五丁高に寄付五十五錢こ押せしが阪地高に買氣旺盛を極め六十五錢迄上伸し六十錢擢みを採合四錢こ引

▲第五節　當中更に出來ず先六十九錢こ寄付已しが强氣派の手詰めに六十六錢こ底強く打止めたり

押目買旺盛
昨後場中限の新規賣買停止に合談の成立懸念に伸び悩み折柄大阪の半場高騰に今朝立會前の人氣は四十八圓見當なりしも値動の間隔上買方の暴落荒らく過日來の當中を買ひ泣きさせし某正米筋の要求せらるより合で聯停不可能なる買方提灯連は猛烈に公定見たる買を始め市場の成行き强硬にて寄付七十四錢こ鋭き上伸し再度かんこ二十五丁安の三十五錢び悩み人氣は全くの逆行高を演じ十錢こ掴みを採合ひの十九錢折柄大阪の高値に追隨し二十九錢こ反撥に氣勢を揚げ六十八錢こ返して六十六錢を大勢上正米事情の現今の採算上其しき無理なりこもあらざれば自然の理勢ならんこ思ひ

急告
原料及勞銀ノ暴騰ニ依リ爾今製材品二割値上仕候間此段謹告候也
大正八年十一月二十一日
安東製材業組合

京城正米市場
産地氣配の好轉に内地正米入電高より大阪二十錢神戸二十錢下關二十錢等を齎らしたる為め市場氣配一段强硬の模樣ありこ雖も當業者間の一般的賣控へこ新米の貴物稍增加の振合ひに實勢伸び悩みで今朝は新米上物四十七圓見當を唱へたるも實需更に付かれざるの有樣にて正米不割安に盡きて末には本所精米手持薄の爲め前日の値に據ふ

大阪三品特電
二十五日前場
十一月限　七〇三、〇〇
十二月限　……
一月限　……
二月限　……
三月限　六二七、〇〇

綿布持合ひ
綿糸布の逆落反動の再騰を演せし綿布も一巡に今朝は稍々持合ひの模樣にて前場入電當限七百三十圓に六百二十七圓、小安き移りなりしが當綿布市況は强調後は三十一服こして成行平調こなり今は五百三十七八圓唱へる持合ひを呈し眼先傍觀の姿なり

釜山正米市場
内地市米底堅き爲め二十五日當市場又强含みながら持合ひ告げ三等神力五十圓新穀良部十一圓にて六千個出來せり

▲大豆は各種共二十錢安を告げ新大豆二十八圓五十錢古京釜十七圓京畿二十七圓五十錢に薄商内ありたり（釜山特電）

仁川正米市場
山群山の正米高こ産地の出り薄に促がされ賣物皆無の状を示し高値は警戒氣味なりしも自然人氣は引締め步調に等合格新米四十八圓六十錢揖斯安米四十六圓廿錢見當も更に商談行はれず

白米小賣値上げ
自米小賣値は日々の原料高に促され昨夜組合協議の結果金二十五錢より一錢方引上げ一等米五十六錢、二等米五十五錢を履行する事こなれり

大豆と緑豆
大豆は賣物稀薄移出口の採算上續いて好氣配を呈し今朝は長湍物及白川物一月仁川渡しの二十八圓にて出來せり緑豆も徐々引締まり氣味にて古十一月渡二十八圓新十二月渡しの二十九圓二十錢の手合ひありたり

市場雑觀
市場の焦點こなりし中限は愈々賣派の失敗に期し此の放任せんが如何なる爆發を現出するや計り難き傾向を示して來たので取引所は定歎第八十條に基き中限に對する新規賣買を停止させたる解合方針に曙光を認め市場の安寧を保たんこする意向なれば一二の有力者は昨夜來より奥西に奔走して値段の折衝に努力されつゝある模樣なるも連戰連勝の買方は容易に手持米の解決を見る事なく愈々諸連中も中には手持米を掛けたしら樣なれば總解合は不可能なるが如し▲然るに今回の爆發も只渡米薄の爲めに買煽りし相場こも思はれ難く實勢の正米が産地高を演じ出廻の皆無の狀態こ内地正米高に依るせし歎派の失敗も當なれ新米前安値も望み難く結局四十八圓四五十錢を至當なる如く唱へ居る向もありしが兎角歎派こしては

中新規定買停止
昨前場阪地高の移りに煽れ物殺到し先四十八圓八十錢こ新高値に打止めたるより硬軟の決戰の日標たる中限は漸次不穩の兆候を認め來れる爲め取引所は定款第八十條により中限の新規賣買を停止したり

白米一部引上げ
白米は内地移出の不引合ひ及市場の賣行き鈍狀にて大手筋精米所は機械運轉の休止を避くるが爲め此際多少の割安を厭はず賣應ぜんこする意嚮なるが其日先しに原料を買拾ひつゝある小精米所にあつては採算上勢ひ原料高に附隨せんこする有樣にて自然相塲引締め氣味こなり今朝小賣商側に於ける一錢方の値上げ賣行を機こして市中卸値も一部精米所の引上げを見るに至れり標準値は割安に五十四圓處を維持し卸高には五十四圓五十錢を唱へられ前記事情の結果こして市況は區々亂調の振合あり

糯の内氣配
糯は前報の如く各精米所共に年末準備米手控へ方針の爲め未だ相塲の見當立たざるも産地氣配其他の事情より觀測すれば市中値段は先づ六十五圓より七十圓の範圍ならんこ

粟強持合ひ
本品は漸く産地この採算値に接近する迄買上げられ最早買の妙味少なき値頃こなりたれ此上頭いて高値に進まんこする向なく今朝は稍頭間への觀に持合ひあり

米況（續）

	寄付	高値	安値	止め
廿四日後場	四八、九〇	四八、六三	四八、五一	四八、九五
廿五日前場	四八、八〇	四八、八〇	四八、七五	[illegible]

收組高　當限　六千百石　中限　[illegible]　先限　三萬三千七百石
公定値段　一節　四八、四五　二節　四八、二五　三節　四八、三二　四節　四八、五二　五節　四八、五五
廿日川來高　五十七萬千二百石
限入値段　當限　四十九圓丁度　中限　四十八圓六十九

商業登記公告
株式會社朝鮮殖産銀行變更
大正八年十一月拾七日慶尚北道大邱府…[illegible]
地方法院京城鐵原支廳

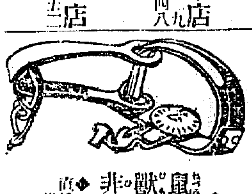
商業登記
株式會社…[illegible]
大正八年拾壹月…[illegible]
沙里院出張所

高等薄色醬油
明治町二丁目　大塚京城支店　電四〇一
本町二丁目　前川酒店　電二三七
本町二丁目　佐藤牧本店　電一九八
龍山驛前　中崎商店　電五二二

年六回の收穫ある蔬菜促成栽培
▲僅二坪からでも百圓の金儲
一寸した町でも時ならぬ時小指をした人が少くない一本六錢もする殊に東京大阪等へ送るこ夫以上の高値…其他の蔬菜も頗る珍重されて飛ぶ様に賣れる…野菜の缺乏せる時…作り時ならぬ時に收穫するのが促成栽培である此方法で大金儲…

華新　製縄機
増設工場落成記念割引…又は特價提供…
大阪大正橋西詰　帝國製縄商社

旭町壹丁目（京城府廳裏通）
内科　婦人科
イマモト醫院
電話二八五二番



けものごろきかい
米國製捕獸器
鼠鼬の類よりどんな大きな獸類でも容易に捕れます是非一度御試し願ます
直輸入發賣元　東京市吉町一丁目（公園前）
吉川米次郎商店

肺病肋膜炎　責任賣藥
眞ノ肺病、肋膜炎藥トシテ其名ヲ博シタル…[illegible]
製造元　長崎　本蓮寺説教所

定價　三十五錢　七十錢　一圓八十錢

暴飲暴食の豫防にゴルフ
食後にゴルフ
寢後にゴルフ

東京　泰昌製藥株式會社

伊達騒動

第六十九席　小金井芦洲講演

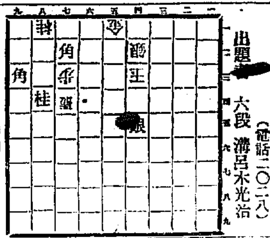
一　脛に疵の小三郎

けれども唯無意味に殺したのでは不可ませんから始終小十郎のことを安藝に讒言をする、安藝のことを小十郎の方へまた手を廻して讒言をさせる、其内に折を見て刀を盗まして殺らせやうといふのです、モウ機は熟したりと見たから、今井がスツパリ僧間に認めて藤井小三郎の所へ申し遣はしました、申す迄もなく容易ならざる陰謀を企てゝゐるのですから、其の手紙も明かに誰にも分るやうに書きはしない、前以て暗號と云ふものを定めて置いて、其の暗號に由つて認めてあるのだから無關係の者が見ちやア意味はちつとも取れぬ、右大切の書面が恙なく藤井の手に着きは着いたんだけれども、丁度其折は奥州仙臺の城下は非常に疫病が流行つて、安藝ごの屋敷の近所の者は皆患つて御前勤めをする者も碌に無人、藤井小三郎だけは悪運の強い奴で感冒一ツ引きやアしない至つて健かだ、御前勤めを日々やつて居るのだが忙しくて〳〵來た手紙を讀む遑がない、無論悸う云ふ秘密の書類だから迂濶の所では讀めず、或夜のこと自分の控所へ退つて來て今宵は聊か閑がある、ソツと懐から取出だして封を切り、一字々々暗號に照合して巻き文にして是れを見る、讀み終つて元の通りクル〳〵と巻き終つた途端に後で「エヘン」といふ咳き、誰も居ないと思ふから讀んで居たのだ、突然の咳拂ひで吃驚して振返りますと立つて居るのは別人ならぬ主人の伊達安藝、色が忽ち眞白に變じた　安『小三郎』　小『エヽ是れは御前様　安『何をいたして居る　小『鳥渡手紙を……　安『アヽ左様か、茶を一服いたしたいと心得たが　小『左様でございましたか、それなればお手をお鳴らし下し置かれますれば　安『イヤ、此頃は悪い病が流行いたすので手廻りの用を致する者が皆て引籠つて茶道手當、其中に至つて達者に其方一人、何かと用事も殖ねて急がしいことであらう、依つて自分の手で間に合ふだけのことは成丈け自分でいたさうと存じてな、斯く自分で茶道具を取りに参つた　小『是や又有難い思召で恐れ入りました　安『其方臥せつて居るのだらうと思つて居つたが起きて居るなら幸ひだ、其方にも一服遣はすから茶器を持つて参つて呉れ　小『畏まりました、唯今持参を仕ります』安藝宗重は居間へ這入る、小三郎はホツと一息を吐いて胸を撫で、お臺所の中から取出した茶道具、安藝の居間へ持参をいたしました　安『ア、大儀であつた、小三郎、これへ参れ其方にも一服遣はす　小『有難い仕合せで……　安『今も申したが其方は身體が達者で何よりだのう、人と云ふものは體が丈夫でなくては不可ぬ、幸福は健康の身體に宿ると云ふ、七十を古來稀と申して揚ら養生をいたして壽命を長く保ちたいと思つても百歳の壽命と云ふものは保ち難い者ぢやが、マア若い内から達者な者は必ず幾分でも長壽が出來る、其方は幼少から手許に召使うて居るが、ハアごうも丈夫で結構であるのう　小『恐れ入りました、私なごは未だ若い身でございますから丈夫は當然でございますが、御前様は　安『イヤ、此頃は大分大儀になつて参つた、寄らざるものは年と居酒屋、年は寄りたくない、熱さ寒さが若い時と違つて一倍感ずるやうである、ぢやが何だのう、主従でも夫婦でも同じことだが睦まじく行かんけりやア小三郎不可んの　小『壽命の如くでございまして　安『其方なごは予が何も彼も打明けて申付け、折に觸れては餘りと申せば無理なことをと思ふこともあらう、けれごも其の無理なことも厭な顔もいたさんで忠實やかに働いて呉れるに由つて予は常に嬉しく思つて居るぞ』と平素は寡言沈着の伊達安藝、今宵に限つて打解け過ぎた談の模様に脛に傷持つ小三郎薄氣味悪く思つて居た

裁縫糸・レース糸　其他附屬品製造卸　ビワコ屋糸店　京城北米倉町　電話五〇五番

懸賞詰將棊（第四回）

京城黄金町三丁目二一五（電話二〇二八）
出題　六段　溝呂木光治



▲募集規定▼　持駒なし
賞品　價格壹圓（本社代理部買物券）
入賞者　壹名
但正解者多數の時は抽籤とす
締切　十二月五日
注意　京城日報社將棊係宛の事

お断り

明朝刊四面より囲碁新局を連載すべく依つて盤版の都合により將棊手合は夕刊本欄に掲ぐることゝせり

産科　婦人科　京城壽町電二一〇一　二宮醫院　醫學士　二宮寛吉

十一月廿七日

（舊）十月六日　木曜日　▲みづのとひつじ　▲五黄　▲先負　▲井　▲なる

▼五黄▲殊に正しく暮すべき日
▼六白▲早まる事を注意すべき日なれど正しき願望は叶ふべし
▼七赤▲或は金錢に縁ある吉事あるやも知れず但し交際は注意
▼八白▲望み事或は延引するやも知しず和合を専一にすべき日
▼九紫▲山つ氣の起る事ありとも常業以外の事は考へてすべし
▼一白▲縺りの付かぬ事ある日
▼二黒▲心を離かにして柔和に出づれば爭ひ事は勝つべき日也
▼三碧▲名譽も揚り願ひ望みも叶ふ日にして運氣の強き日なり
▼四緑▲運氣は好き日なれど我儘を出ださば却て困ることあり

演藝案内

大正館　櫻井町　電話八七三　日本活動寫眞會社代理店
◎當る廿二日より最新大寫眞提供
◎實寫　聖地降誕祭の實況　長尺
◎滑稽劇　奇妙なる音樂　長尺
伊太利ケーザル會社大傑作　名優フランチスカベルチーニ嬢出演　悲劇　居酒屋の踊り娘　全五卷千呎
呼々悪漢の手先となりし憐むべき踊り娘の哀れ、呪はれたる青年の純情の熱と最大なる犠牲とは彼女に如何なる運命を與へんとするか
長田幹彦先生原作山本一派出演　新派悲劇　殘る花　全六卷
日活東京撮影部が最新優秀な技巧を盡し漸く完成せる大雄篇特に新記録を作れる大冒險飛行機墜落は如何に薄倖なる多美子の頭上に…縮緬細緞に始り涙に終る悲哀劇
▲特別番外實演提供　本月撮影の野に爆行セラレタル　實寫　陸軍特別大演習實況　説明者　野村雅延
○毎日一日十五日晝夜開演

壽館　本町二丁目　電一〇五〇
▲當る廿五日午後六時より　旭扇會支部二週年紀念演奏會
演奏曲目
白虎隊　子陽　芳流　旭豊
赤垣源藏　子花　橋中　旭場
宇治川　子葉　伏見の　旭紫
扇の的　子豐　川中　旭史
お伽の内　子浦　中山　旭央
勝世　挑太郎　子成　義士の本懐　旭慾
寺坂吉右衛門　子榮　本能寺　旭進
護良親王　子清　菊の露　旭操
▲二週年祝歌（合奏）
▲屋島（五絃）旭皇
▲筑後川（五絃）旭河
▲村上喜劍（五絃）旭晃
▲衣川（五絃）旭桃
▲竹寮　法恩山　旭子　旭節

黄金館　黄金町　電二六三七　天然色活動寫眞株式會社　京城釜山一手特約代理店
▲當る二十一日より大提供
▲實寫　カクレア週報　▲喜劇　美人事大失敗
新派悲劇『あけぼの襞』全　卷
吉岡好郎先生作脚色　天活會社直營大阪芦邊劇場封切映畫
伊太利アンブロジオ會社　名優アンナ・フォンベルト出演　悲活劇『炬火』全四卷
父母の秘術を打明けんか、死に瀕する母は欺かん、これを秘せんかと二岐に迷ふ大悲劇
舊劇　一派天活東京派專屬撮影『大久保彦左衛門と忍術奴』五卷
越前の浪人仲間春公忍術の達人…大久保彦左衛門は…

喜樂館　本町一丁目　電百九七番
▲滑稽劇　ヅッピーの心配
▲特別興行　海中繁殖物
▲陸軍參謀本部御檢閲濟　實寫　陸軍特別大演習實況
人情活劇　パークルーの姫君
日活京都派特別作品　大久保彦左衛門　漫遊記　（全七卷）
○年中無休晝夜開館

浪花館　京城明治町　電話二六〇
二十一日より開演仕候
落語特別巡行　圓頂派橘圓次郎大一座
▲昔ばなし　▲落語手踊　▲滑稽手品　▲笑話講談　▲通俗講談　▲音曲はなし　▲落語扇舞　▲人情はなし　▲珍品一人角力　▲笑話舞踊り　▲大切處作事踊
橘圓次郎　社中總出

寫眞館　河原寫眞館　京城旭町一丁目　電話二九八一番

かぜを治し　ねつを解き　發汗・鎭痛の効力強大なる

蛇印（ジャシルシ）アンチピリン丸

安全第一のかぜねつ藥

▣三大特長
最新高貴原藥を配伍す
絶對に副作用なし
胃に溶け易く効験偉大

主効
かぜ、ねつ竝はやりかぜ竝はしか竝リウマチス竝オコリ竝頭痛其他熱病一切の諸症に卓効あり
藥價　十錠より壹圓迄各種

滿七歳以下のコドモのかぜ、ねつ、には小兒專門解熱新藥「オイン」に限る。
藥價　十錢、二十錢、三十錢
▲全國各藥店に取次す
大阪　東京　本舗　丹平商會藥房

月經　遲滞新藥レスタリン

閉止四五ヶ月以内に確實に通經の目的を達し其効果は他藥に優越す
大阪北區曾根崎上一丁目　常盤藥房　振替大阪二八三七〇番

サンニュウ

補血強壯

朝鮮總督府中央試驗所分析證明
蔘乳は朝鮮人蔘中の純有効成分を乳汁化した補血強壯飲料であるから飲めばホコ〳〵と身體中があたたまる
これだから防寒飲料としては適當
美味高尚なるが故に朝鮮土產其他進物に適す
▲冷性の人、貧血の人、衰弱の人、病後の人方は朝夕是非一杯召上がれ
大瓶一圓五十錢　中瓶五十錢　小瓶貳拾錢
製造元　山府　朝鮮蔘乳社
發賣元　堂本蔘乳部　振替京城五八三番

賛化病院

京城南大門通一丁目　電話二四二番
內科　小兒科
入院隨意
毎日五名を限り施療す
醫學博士　古城憲治
醫學士　打田義芳

上等の名仙も織元ではこんなに安い

桐生は日本唯一の織物大産地にして殊に桐生は高級織物の産地として知らる、目下諸物價騰貴の折柄多數商人の手を省いて製造元より直接買へば殊に安價に買へる弊社にては此際新流行品が各地市價の何割と云ふ安價にて提供す但し左記品合計壹萬點限り破額の廉價を以て提供す
▣特製最上桐生絲織銘仙特價一反　拾四圓半
本品は紳士淑女用として好適。柄合の嶄新優美なるは弊社の誇
▣吉野御召縞物御婦人向特價一反　拾四圓
コート羽織着物何れにも好く上品なる最新式の縞柄なり
▣大巾金紗縮緬兵兒帯特價　九圓
紳士用として至極好く紗地…
▣縮緬襦袢袖地男物特價　五圓四拾錢
本品は無双袖地にて無地に絞り模様…何れにも好適
▣羽二重羽織裏地特價　四圓五拾錢
山水、花鳥人物模様の…高尚にして優美なり
御注文は端書に男女別年齢を記し御申越次第引換便にて御送附申上
群馬縣桐生町　丸登織物會社桐生販賣部

內科　胃腸病
診察時間　午前九時
京城本町一丁目　石川醫院　電話一三七九・二〇九番

嫁に行く娘の手筐に母が籠る情の味の素

あらゆるタベモノのアヂをよくする

味の素

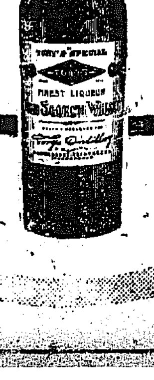
▣味の素の栞（調味）
吸物　鹽と湯さへあれば即座に味よく拵へられます
さしみ　やつ香の物の醤油に加へれば甚く程味がよろしく
煮物　に入るれば鰹節が入らない程味がよくなります
酢の物　ひたし物にかけると花鰹より味も鹽梅もよく
茶　に入れると番茶は忽ち最上の玉露に飲めます
よせ物　砂糖や蜜で味を附ける時少々入れて御覧なさい
味噌汁　味噌汁に加へると云ふに云はれぬ味が出ます
鶏卵　焼ても煮ても生でも一度入れたら忘られません
豆腐　きせいて鍋くにも湯豆腐にも少しで味が格になる
▣味の素

OLD SCOTCH WHISKY
TORYS

トリスウヰスキー

本品は平和克復が齎せる斯界空前の産物にして最も新鮮なる空氣を有する貯藏庫に多年秘藏され極めて圓滿に熟製されたるを今回漸く搬出しせし逸品にこれあり　其香味の高雅　斯界恐らく無比として聊か自信の下に發賣す　請ふ御試飲を給へ

代理店
大阪市東區安土町四丁目　株式會社　祭原商店

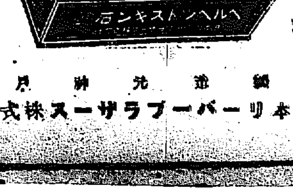


18

ベルベット石鹸

▼證據はこれだ！

人は云ふ―
『婦人は唯だ金錢の浪費者だ』と、
けれども、世には
財布の口を引き占め得る多くの婦人のあることを忘れてはならぬ。
萬人の皮膚を天鵞絨化するベルベット石鹸をのみ、愛用せらるゝのが何よりの證據！



總發賣元　神戸
日本リーバーブラザース株式會社

京城日報　第五版

（年中無休刊）

定價　一部金[illegible]　▲郵稅金[illegible]　壹ヶ月金[illegible]▲三ヶ月同[illegible]▲六ヶ月同[illegible]▲一ヶ年同[illegible]▲郵券代用一割増

廣告料金　五號十四字詰一行金一圓[illegible]　特別二號[illegible]

發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號長六千九番　長六千九番　振替京城三〇〇〇番

内地人に誡告し併て朝鮮人の自省を促す（三）

加藤扶桑

今回騒擾の勃發せし以來内地人は一般に反省の色あり以往に於ける如き不都合なる言動をなすものゝ漸く減少したるは喜ぶべき事なり然れども多年の因襲的慣行を根本的に變更するは一朝一夕の能くする處にあらず所在に往々にして尚ほ舊時の如き惡例を貽すもののあるは遺憾の至りなり一二の例を擧ぐれば湯屋の如きは某地方に於ては午後三時より七時までを内地人の入浴時間とし七時より十時頃までを朝鮮人の入浴時間とし又某地にては僅に朝鮮人の入浴を全然謝絶し深夜十一時に至りて少數の鮮人を入浴せしむるの實例あり興行物については或る地にては日を定めて内鮮人を區別し『今晩内地人專門』『今晩朝鮮人專門』と標記して公然内鮮人の差別をなすものあり蓋し營業者をして謂はしむれば斯くするにつき其れ相當の理窟を陳ぶるならんも營業上の不利不便を避くるには各其の方法あるべく故らに内鮮の差別待遇を標榜するにも及ぶまじ假りに多少の不利と不便とが免るゝの途なしとするも斯る偏頗不公平の行爲は社會的道德の上に於て許すべからざる處なれば内地人たるもの些少の苦痛は之を忍びて不快の念と不滿の情を半島同胞に起さしめざることを勉めざるべからず其他商店に物を買ふ場合船車に乘る場合を始め日常應接の上に於て心得がたき言動を聞見することは毎時のことにして吾人が『かくては朝鮮人が不快に感ずるも無理ならず』との嘆聲を發する所以なり此の事に關して内地人に反省を促すと同時に吾人は官憲に對しても囑する處なくんばあらず今人あり邊りに罵詈を加へ暴行に出づる如き場合に於て當該官憲が之を制止し之に責問を加ふるは勿論のことなるが而も官憲が人民の行爲に立ち入りて干涉すべきは獨り罵詈暴行の如き場合に止まらず苟も社交上の平和を保ち人々の間に於ける親睦を完うする上に妨害ありと認むべき言動あらば是れ正に官憲が之に介入して干涉し誡諭すべき處のもの誡諭して從はずんば法律上の責問之に次ぐべきや論を待たず上に記する如き内地人の施設言動は明白に朝鮮人をして惡感反情を起せしむるものなれば取りも直さず社會の平安に妨げあるの行爲に屬す之を誡告し指導するの責自ら當該官憲に存す然るに此等について些の官憲の干涉始め公吏公職に在るまで殆ど注意を拂ふものなきは何故ぞや官憲を執り公職に在るものにして思ひを此に致し不埒なる内地人を警めて能く之を導かば内鮮人間の感情の齟齬未だ此の如きの甚だしきに至らざるべき歟是れ吾人が切に地方官憲に望む所なり

生別死別

＝（不許無斷轉載）＝

服部硯月

第五五　初對面

巡査及び砥上の一行は打連れて、澁谷の三浦の家を訪ねた。巡査は先に立つて先づ玄關に聲をかけた。

『御免下さい』

『オヤ井上さん、さ何卒お入り下さい』

美代子は早速玄關に迎へた。三浦一家には井上の訪問を受けるのが唯一の慰安であり、且又女世帶には警察に出てゐる者の出入りあるのは近所に對しても非常に心丈夫なのである。

『本日は少し公務を持ちまして參りました、少々お尋ね申したい事が御座いまして』

巡査は豫て三浦一家の知己の井上であつた。井上も平素の無沙汰の詫や、其後の樣子を尋ねたいのが山々だが、周圍の人に氣を兼ねて故意と他人行儀に一揖した。此場合平素の交誼を云ひ出されては職務上依情の沙汰であるやうに取られては面白くないから。三浦の方でも改まつた挨拶に多少穩かならぬ所がないでもないが、外の人と違ひ井上であるので心に千人力の賴みがあるのである。

『オイ重吉這入らんか、夫から砥上さん、此所が三浦さんと云ふお宅です……あの奥樣御存知かも知れませんが貴女にお目に掛り度いと被仰るのでお伴を致して參りました』

『何卒、汚くるしい所で御座いますが此方へお這入り遊ばして……』

菊枝は一時に多數の來客に其處等の取散らした物を片付けてゐる。

『私は砥上[illegible]す、此後お心[illegible]ます、父是は私[illegible]非お嬢樣にお[illegible]こ申しますで[illegible]も構はず連れて[illegible]した』

艶子は兄の言[illegible]儀をした。

『何卒私の方からも宜しくお願ひ致します、お嬢樣、もつとお進み下さいまし、菊枝さん御挨拶お仕でないか、之は私の娘で御座いますが、未だほんのねんねで御座います』

『私は菊枝と申します、何卒宜しくお願ひ申します』

井上は一同の初對面の挨拶の終るのを待つてゐた。

『あの奥さん、今晩大勢でお伺ひ致しましたのは外では御座いませんが、本日是なる重吉がお宅から孔雀の繪を貰つて歸つたことかで、其の繪を八百屋と二人で分配しようとしてゐるのを、通り懸られた砥上さんが切角對幅に出來てゐるのを別々に離すのも惜いものだと謂ふ一つまりお嬢樣に對する同情の爲にお買上げになつたので御座います。夫で重吉の申す所に聊か腑に落ちない所がありますから一緒に連れて參つたやうな次第で御座います』

『それは／＼いろ／＼お手數をかけまして何ともお耻かしい次第で御座います』

『夫で之は貴女の方では承諾の上お遣はしになつたので御座いますか』

『………』

美代子は重吉がゐるので何とも答へ兼ねた。

『オイ重吉、確に貰つたに相違ないか』

『全く夫に相違御座いません』

『貰つたつて、只で貰ふ理由はあるまい？』

『繪金の代りに』

『米代や野菜代の代りに頂きましたので』

『私の方が五圓四十錢、八百屋の方が二圓七十錢とで合計八圓十錢です』

之で大概の樣子が判明した。併し繪代と繪の其代とに過ぎない少額で放される理由がない。

『奥さん、お聞の通りですか』

美代子は面目無けに俯向いた儘返辭さへなし得ぬのである。

『貰つたんぢやあるまい、横領したんだらう』

『飛相もない、あのお嬢樣から頂いたのです』

『お孃さん、全くですか』

『はア………』

否とも答へ兼ねた。違らないと云へば其代りに金子を拂はなければならぬので。

前京城覆審法院判事
辯護士　法學士　切山篤太郎
京城黄金町一丁目一五九番地（三井物産株式會社向側）電話長一八六九番

萬年筆ペン修理と販賣
京城本町二丁目　振替二三七二　電話二五二七
ウツボヤ萬年筆店

高橋五郎著最新刊
人種改善學
四六版總布表裝金文字　新美本
定價壹圓五拾錢　郵稅拾貳錢
世界改造の第一步は人種の改善より始めざる可からず
本書は即ち此人種改善學ユウゼニクスの理論と實行との方法を譯說し加之進化論の祖述者ワルレス博士の雄渾淋漓的社會改造案を紹介したるもの乞ふ一讀
東京南傳馬町　大阪三休橋　大鐙閣　振替（東）二二七一一（大）一六八五

田中國教學會長著
日本民族の信仰　附神道圖說
本書は日本の根本精神の解決につき新研究を試みたる良書に[illegible]　定價金貳圓五拾錢送料金十二錢

大日本神祇學會々員募集　學科目用有六◎講師は皇典講究所教授外專門大家の執筆講述◎著と輯す◎規則金二錢を要す
神職講習錄　再版發行

平田學會々員募集　本全集は此の再版を限りに絶版とす◎此の機を逸すれば又た得難し速かに御申込を乞ふ◎規則書入用の方金二錢を要す
再版　平田篤胤翁全集　第六卷出版

大日本國體會編纂　皇國千古の寶典として諸大家の高論卓說を蒐集し加ふるに編者の解說を附せり◎高評嘖々眞價世に知らる定評有一
新撰　國體論纂　全二冊　既刊
本書金四圓也　送料は別　遠方の方に送呈す◎申込所　東京市麹町區飯田町二ノ廿八　振替口座東京二一參九〇番　皇學書院

婦人世界　十二月號
彼女と別れ　米國から呼寄せた妻は私を捨て新しき戀人と共に遠く故國に去た!!　……坪内士行
□子供の無いの夫の罪か妻の罪か……ドクトル近江湖雄三
□再婚後生れた子供が先夫に似ると云ふ說は信ずべきか……山内博士
□出產の費用と準備
◎茶碗蒸の美味しい拵方……大人
◎美味經濟な弁當の拵方……赤堀峰吉
◎綿入を着ない主義……村井喜久子
◎東京三大呉服店の食堂記
□名作物語　人形の家……加納幽陽
□家庭小說　愛の力……水野葉舟
□長篇小說　靈鐘（終編）……小杉天外
□挿繪小說　秋風怨……大村青波
□麗人列傳　野中婉子……長谷川時雨
◎桃色關竇を怖む歌……松旭齋天勝
◎三輪田女學校花生評判記
◎女中をやめて能率を増す
◎胸腹手術後の肺炎を全治した實驗
□妻と七面山に登る……河村幽川
□英主と勇士の母……[illegible]
□藝者を落籍させた夫（解決）……[illegible]
□床次氏と再婚に贊成します……大橋部尼子
われに日光を與へよ!! 營養と睡眠を與へよ!!
勞働婦人の叫び!!
□女工となり實情を探る和田かめ子
□アメリカの婦人勞働者……三浦鑑造
□女工を寄宿より解放せよ……野口光彦
□託兒所と女工の家庭生活……菊地初子
□女工生活十三年の感想……山内みな
□哀れな寄宿工女の生活……[illegible]
□婦人勞働問題の將來……山川菊枝
最良内職　官公吏教員さんにも出來る自宅勸誘員一町村一名限り依託す　販賣品最高尚採用は東大會社　報酬は一個に付五圓其他詳細は[illegible]切手封入申込次第進呈◎東京神田三崎町二ノ十[illegible]

養鶏卵配達開始
京城本町一丁目五〇
守山鶏飼育所　電話五四二番

最新刊
書名　著者　定價　送料
勞働問題研究　松崎蒼　二、〇〇　〇八
社會主義者の社會觀　一、六〇　〇八
民力涵養　加藤咄堂　一、三〇　〇八
最新朝鮮大地圖　特價二、五〇　〇六　内地四五
新、滿、支案内　三、五〇　〇八
古美術行脚　黑田鵬心　一、二〇　〇八
與謝野晶子著　晶子歌話　價一圓八十錢送料八錢
欲求と共和　永島信子　一、〇〇
山山路爺著　月給生活者の副業　價一圓九十錢送料八錢
彼岸の光　木村莊八　一、〇〇
デカルト方法論　牛山　七〇　〇四
▲大正九年日記類全部著荷仕候
京城本町一丁目　大阪屋號　電話六四番　二六八番　振替京城二五七三番

縄叺卸商
如何なる大注文も今間に合ます
大邱府大和町　東屋商會

資本金貳百萬圓
開業御披露
弊社儀本月十日より營業開始仕り諸物價を廉價に御便宜迅速に提供し誠實熱心に勉勵可仕候間幾久敷御引立賜り候樣偏に奉願候　敬具
營業科目
織物、穀物、皮物、其他
内外國物產貿易
輸移出入貿易委託賣買及其金融
京城府鍾路貳丁目九十九番地（鍾路四街）
東洋物產株式會社
電話長七〇三番、八四七番、長二一參三壹番
電信略號동양又ㅌ（トヨ）振替京城五壹四番

▲十一月廿五日發刊!!
朝刊八頁
夕刊四頁（京都附録二頁　神戶附録二頁）
大正日日新聞
定價　一箇月金九拾錢、三箇月金貳圓六拾五錢、六箇月金五圓貳拾五錢、郵稅一箇月金拾五錢
△世界を改造するものは誰ぞ、政治家か、資本家か、學者か、否!!　否!!　民衆の理解ある努力である。
△見よ、世界は刻々に改造されつゝあり、思想上にも、經濟上にも、國際上にも。
△眼を睜るべき時、耳を聳つべき時、我が大正日日新聞社は其眼其耳たらむとして生れ出たり。
△民衆と共に勞し、國家と共に生き、世界と共に進まんとす。
△我等の理想と努力とは日々の紙上に横溢す、請ふ我紙を讀んで親しく之を知れ。

初號より掲載さるべき特別記事
○大正年間の思想（長篇）　三宅雪嶺
○社會と個人（長篇）　有島武郎
○京より大阪へ（長篇）　生方敏郎
○題未定（長篇）　中澤臨川
○小說「銀籠小籠」　眞山青果
○挿畫　竹久夢二
○小說「これから」　正宗白鳥
○挿畫　平野夕顏
○講談「豐太閤」　田邊南龍
其他時事問題に關しては岡村司、佐々木惣一、河田嗣郎其他の諸博士執筆せらる。

編輯幹部
主筆　鳥居素川
編輯部長　中島松一郎
經濟部長　高柳松一郎
外國通信部長　丸山侃堂
内國通信部長　花田大五郎
社會部長　河東碧梧桐
學藝部長　中澤臨川
東京支社長　宮部敬治

客員
文學博士　三宅雪嶺
法學博士　岡村司
長谷川如是閑
大山郁夫

賀川豐彦
武者小路實篤
國分青厓
古城貞吉
近藤浩一路

稲垣伸太郎
生田長江
野依秀市
[illegible]

資本金貳百萬圓
株式會社　大正日日新聞社
大阪市北區梅田
電話本局特長一九五二番　一九五三番
[illegible]

東京支社　東京市麹町區有樂町一丁目四番地

京都支局　京都市下京區烏丸通七條南（電話特長二四一八番）
神戶支局　神戶市榮町六丁目（電話特長元町九一二八二番）
名古屋支局　名古屋市中區小林町（電話特長七四九九番）
北陸支局　福井縣敦賀町（電話特長二七二番）
廣島支局　廣島市東本川新大橋東詰（電話長一八〇五番）
下關支局　下關市東南部町（電話特長七九七番）
山陰支局　鳥取縣米子町天神町一丁目（電話）

▲十一月廿五日發刊!!

露公式講和提議

新聞報道に據れば露國過激派代表官吏トヴィノフは英國代表委員に公式講和提議を爲せりと(コッペンハーゲン電報)

ボナー、ロー氏聲明

聯合國は米國の參加有無に拘らず國際聯盟の成立に向つて進行すべしと、ボナー、ロー氏は聲明せり(倫敦電報)

我代表意見衝突

我勞働代表委員顧問全部は岡副使と時間制問題にて意見衝突し二十二日の會議には全員缺席せり(華盛頓電報)

朝鮮統治に就て

水野政務總監演說

(東京特電)水野政務總監は別項の如く廿四日午後二時より政友會政務調査會の招請に應じ朝鮮統治に就ての講演を試みたるが其要旨左の如し

朝鮮人に對し徒らに壓迫を加ふる如く解せらるゝ方針は今日の時代に適せず漸次溫情主義を以て善導するを要す然れども獨立運動に就ては日清日露兩役の由つて起りし所以と併合後東洋平和の爲めに避く可からざるに鑑み絶對に之を排斥せざる可からず此意味に就ては近く特に聲明せんとす教育は從來の制度漸く時勢に適合せざるを認め

改善の方策 を考慮中なり現在は六面に一校を存置する割合なれども理想としては一面一校を設置し度く差當り三面一校の割合に增設し修業年限も延長する事となる可し、從來朝鮮の財政獨立なる言葉ありたれど實際に於ては國防費及び警察費の大部分は陸軍省より支出し居たれば其實際上財政の獨立無かりし所に然り今後產業教育等の諸設備に倍々支出の增加を見る可きを以て

財政獨立等 は困難の事なり、產業は將來適當なる施設を爲さば農業、工業、森林經營等最も有望なり特に農業は水利を等閑に附しありたれば目下取急ぎ調査中にて早晩開發の方案を得可し、內地人の朝鮮統治に對する意見を見るに公明なる文治政策を以て臨む可しとする者と制壓主義を採る可しとする者との相反せる二派あるを認識せざるを得ず斯の如き

意見の懸隔 は統治の實際に當りて良果を齎す所以に非ず國論の統一に就て各位の配慮を望む、朝鮮の言論の方策に就ては全然放任主義に據るを得ざるは勿論なれども從來の方針を緩和し新聞發行の出願に對しては其地方財力歷史等に鑑み適宜許可する方針也

●●●●兩殿下御榮轉

廿五日左記の如く親補式行はれたり(東京特電)

近衞師團長陸軍中將 邦彥王
補第十六師團長
第十六師團長陸軍中將 守正王
補軍事參議官

陸海軍陞進

二十五日午前十時三十分宮中に於いて左記の如く親任式ありたり(東京特電)

陸軍中將 島川文八郎
同 宇都宮太郎
同 大井成元
同 由比光衛
任陸軍大將(各通)
海軍中將 有馬良橘
同 山屋他人
同 財部彪
任海軍大將(各通)

政友 政務調査會

政友會にては二十四日午後二時より芝公園三緣亭にて政務調査會を開き正副調査會長以下出席水野政務總監より朝鮮の近狀に就き說明し之に對し松田山本小久保鈴木岡田齋藤諸氏の質問あり總監の答辯ありて同四時半散會せり(東京特電)

●●●●講和條約發表期

講和條約は二十五日外務省より都下各新聞に對し發表せらる可し(東京特電)

宇都宮軍司令官

宇都宮軍司令官は二十五日夜釜山上陸直ちに十一時發列車にて北行せり(釜山特電)

西村局長動靜

二十四日來釜せる西村殖產局長は二十五日午後南濱方面に於ける官民有志の歡迎會に臨みたるが一兩日滯釜の筈(釜山特電)

朝鮮所感 (一)

阪谷芳郎男講演

於東亞經濟會講演會

既報の如く京城東亞經濟會にては本月初旬より東京大阪に於て朝鮮事情講演會なるものを催し朝鮮に關係ある若くは朝鮮に知識を有する諸名士の所感を紹介し聊か朝鮮事情の宣傳に努めつゝあるが時局柄之が効果の甚大なるは論を俟たざるべし記者は之等諸名士の朝鮮に關する所感を摘錄し以て讀者の一瞥に供せんとす(東京支局)

◎今日は朝鮮の事情を宣傳すると云ふお催しで御座いまして、私にも何か所感を述べるやうにと云ふ會長からのお頼みで參りましたやうな次第でありますが此朝鮮の事情を宣傳すると云ふ事に就いては私は雙手を擧げて贊成を表する次第であります、實は我々は、從來の日本人は、!今日は朝鮮と日本と合邦になつて居るので日本人と云ふ中には朝鮮を含んで區別はないが、從來の日本人は甚だ朝鮮の事情に暗いのであります、是は國が異つて居つた結果として事情に暗いと云ふことは已むを得ないのでありますが、今日既に合邦となつた以上は、事情に暗いと云ふことを以て責任を免かれる譯には行かない、朝鮮國及朝鮮民は既に合邦して了つたので今日我々は非常な責任を負うて居ると云ふことを決して忘れてはならない、非常なる責任を負うて居るに就ては、事情を好く明にし、研究して充分此朝鮮の事情を知ることが重要なことである、處が從來の日本人は甚だ遺憾なことには此考へがなかつたやうに私は思ふのであります、

◎今日朝鮮の事情を宣傳すると云ふ趣旨は至極其當を得て居る多數の諸君は御承知の方々が現在朝鮮の方々が如何に不平を唱へて居るかと云ふことを御承知であらうと思ふ、で此不平不滿に日本人は非常な責任を御承知しなければならぬ、朝鮮半島は地理の關係上、又歷史の關係上に於て常に日本支那及び露西亞、此三箇國の間に挾まつて何時でも朝鮮と云ふものが三箇國の爭ひの地となつて居るのであります、昔の神功皇后の三韓征伐若くば豐太閤と云ふ古い歷史は暫時措きまして、明治御維新後の歷史を考へて見ますると朝鮮と云ふものが如何に東洋の安危に關係して居つたかと云ふことも明瞭なことである、

◎何うして朝鮮と云ふものが常に此の三ケ國の盛衰存亡に關係をして居つたか、又東洋平和の上に關係をして居つたかといふことは兎も角として、遂に其外交上の紛議が到底解決を見ることが出來ずして明治廿七八年の日清の戰役となり、日本としては非常な苦心をなして經つて日露の戰役となつた、是は何うしても最も親密な關係に居らなければならぬ、で唇破れて齒寒しと云ふが、朝鮮を他國の自由にしたならば、直ちに日本國の存亡に關すると云ふことは疾くより知れて居る、

◎夫故に二度の大戰爭と云ふものがあつた、日本は絶えず朝鮮の獨立及び朝鮮人民の獨立と云ふことを主張して支那は朝鮮に對して宗主權を主張したのであります、即ち支那に於ての朝鮮國論と矛盾に取つてあるに對して日本の獨立と爭つたものである是に對して日本の政府及び國民の精神に一點の私はない、朝鮮の獨立を認めたが爲に他國の侵害を防ぎ、遂に干戈を執つて立つに到つたのである、朝鮮に對する關係は明治二十七八年役を以て支那を撃退して朝鮮半島の宗主權と云ふものは去つた、

◎然るに露國が又其處へ進出して來たのである、露國が遼東半島に於て不平を云つて支那に讓與した遼東半島は勿論滿州處が露國は遼東半島に於て其他の權利を得たのである、有數なる鐵道其他の權利を得たのである、此朝鮮に向つて手を延べたのが露國である、又十年、又日清戰爭が濟んで僅かに十年で露國と爭はなければならぬ、私は此日露戰爭の時分には大藏省に勤めて居りました……其以前も明治廿年頃から大藏省に居りましたので非常に困難な問題に當りました何の問題も大藏省を要するので、何でも私の關係しなかつたものはなかつた、

◎朝鮮の獨立を擁護するに面倒なとが生じまして露西亞が地方を買收すると云ふ問題、ハサン日本も競爭した、小なる地の買收も競爭すると云ふ、實に毎日々々紛議が絕えない、

京畿國稅成績

此程調査完了せる京畿道大正七年度國稅にして本年度所屬分の徵收成績を見るに總計調定濟額三百八十萬零三百四十一圓八十錢に對して三百七十九萬七千百九十圓六十九錢の收入あり未收入金は三千七百三十圓八十錢を示し此の收入步九割九分八厘の成績を見たり其の內譯左の如し

▲地稅 調定濟額百三十六萬六千五百二十八圓四十一錢に對して百三十六萬五千八百二十二圓六十四錢の收入あり此收入步合九割九分九厘を示せり

▲戶稅 調定濟額七萬四千四百六十七圓に對して七萬四千六百六十四圓の收入あり此步合九割九分九厘

▲家屋稅 八萬三千七百六十五圓五十八錢の調定濟額にして八萬三千八百一圓二十錢の收入あり此收入步合九割九分九厘

▲酒稅 十八萬九千四百九十九圓四十八錢の調定濟額に對して十八萬九千三百三十圓七十三錢の收入あり此收入步合九割九分九厘

▲煙草稅 調定濟額百卅六萬八千五百十一圓二十七錢の調定濟額に對して百三十六萬八千五百四十一圓五十二錢の收入あり步合九割九分九厘

▲鑛稅 調定濟額六萬六千九百八十三圓五十七錢に對して六萬五千九百九十三錢の收入あり此收入步合九割九分九厘

▲所得稅 二十五萬千九百八十一圓二十四錢の調定濟額に對し全部の收入あり

▲賣藥稅 五千八百五十四圓七十錢の調定濟額に對して五千八百五十六圓八十二錢の收入あり

▲鮮銀券發行稅 二十六萬二千二百八十九圓九十五錢の調定濟額に對して全部の收入あり

▲戰時利得稅 調定濟額十三萬四百四十九圓六十五錢に對して十二萬九千八百二十圓十錢の收入あり此收入步合九割九分五厘なりと

米國人の個性 (三)

在紐育本社特約員 劍橋生

◎然し乍ら漸く自覺の域に達したる黑人は之に對する反抗の氣分も强くなり來れる黑人側は之に歐洲大戰に於て白人と對立する事となつたのであらう、然もそれが氣の弱いの誇りとしてゐる婦人も出るに至つたので……尙黑人は非人道的なことだと稱して之をながめてゐるたと云ふが、單に光景を眺めてゐる事は口々にそれが當然のことであると云つた、

◎八月三十日の紐育タイムスは黑人會がウイルソン氏に訴へた公訴狀を掲載してゐる、之に依ると八月廿八日迄にジョージア州だけにて三十八名の黑人は白人野次のために殺戮せられ其他之れ等白人は黑人の數及び與論を意して新聞を見てゐると訴へてゐる、之れ等黑白人の爭鬪が擴散され八月末から九月初にかけてる、白人間の爭鬪が行はれノクスビル市は二日間に渡つてモップの横行にまかせられ遂に軍隊の出動を見るに至つたと云ふ

◎最近に至つて最も猛烈な騷動はネブラスカ州オマハの事件である、事の起りはブラウンと稱する一黑人が一白婦人を辱しめたのに初る、ブラウンは直ちに捕へられて警察の留置場に在つた、然るに其夜數千の白人は留置場を包圍した、而して遂に警察署を攻擊し之に放火した、かくして白人等は黑人ブラウンを得た、モップは此黑人を公々然と街の中央にて滿目環視の中に縊り殺してしまつた、讀者は之

朝鮮重石市價

高値望み難し

朝鮮に於ける重石業不振の主因は鮮內鑛山及びブローカーが市價に對し近き將來に於て再び戰時中の好況に復する時あるを夢想し在庫品を手放さゞるに在るが、三百五十九ヶ月鑛山業者ジョージアール、アーレン氏は一バーセント十二圓五十錢にて買注文を申込みたるも鮮內業者は之に應ぜざりし如し然も其後重石は

鑛業家大會

炭田開放問題に就て

炭田開放問題に就て鑛に在鮮礦業家の主なる者十五名より北海道各地に對し請願書を提出せるが炭田は小數者の獨占すべからざるものにして所志の貫徹を圖る爲め二十五日午後三時より南米倉町鮮鑛業家有志大會を開催し炭田開放問題に就き協議せしが出席者三十名外に委任狀出席者四十名にて西崎鶴太郎氏座長となり同湊氏今日迄の經過及總督府當局の意嚮等に就いて詳細說明ありて諸般の協議を進め先づ中村平壤松井民次郎氏は氏の……せる結果

道慈惠醫院增設計畫

總督府醫務局にては一面に醫療機關の完備を企劃し治安の維持に遺憾なきを期すると同時に地方慈惠醫院擴張計畫を爲し當局は之が普及を圖るべく各道に於る醫療機關の完備を計り以て民衆の福祉を增進せんとし現在の慈惠醫院所在地に於ても其施設を擴張するが……二十三箇所に對して……

拓殖協會設立

香川縣にては海外移住民獎勵の目的にて佐竹同縣知事鎌田其他縣會議員其他廿六名より成る拓殖協會を設立する事となり此程高松市に於て發會式を擧行したるが會長に佐竹知事副會長に鎌田氏……

客月長春金融

朝鮮銀行調査に依る客月長春の狀況に就き聞くに物價調節の爲め日本銀行の金利引上其他に依る日本銀行の金利引上に伴ひ內地三井及び株式市場は一時不振の狀を呈し當地も行又金利の引上を實行したるは當地當時金融界も多少逼迫を告げしも後漸次恢復し……

龍山金融好況

龍山……組合は最近初發起人百名にて設立の出願を爲したるが其後引續き……

鳥瞰錄

▲在鮮外人部の消息に通じた某氏曰く外人が總督府の施設を誤解して居る事は思ひ半ばに過ぐるものがある……

人事消息

安田宅氏(鐵道院參事)二十五日夜釜山上陸十一時發列車にて北行(釜山特電)

童謠 河竹繁俊著 ◆四六判布製◆定價一圓八拾錢

幼兒の世界及育兒 徐森貫二・恩地孝共編

學の家庭に必備の書

高島平三郎著 兒童研究
同 愛兒の死
河合醫學士著 小供の愛護
高島醫學士著 玩具と教育
同 兒童學概論
同 晚近の兒童研究
同 兒童救護の實際
同 學校及家庭に於る兒童の研究
高島平三郎著 婦人の生涯
嘉悅孝子著 怒るな働け

高島平三郎先生著 全拾貳卷

神話・童話の泉 (作家)

聖アウグスチヌス 懺悔錄

山本瀧之助先生著 早起

好評拾五版出來!! 洛陽堂

家庭顧問 十二月號出來 縣賞發表 家庭顧問社

移轉廣告 今般左記に移轉致し從前の通り診療に從事候 京城南山町二丁目六番地 片山內科醫院 片山信夫

新朝鮮 第二號出來 主幹 李東宰 新朝鮮發行所

各馬力モートル 在庫多數 右破格値段ヲ以テ販賣可仕候間陸續御用命ノ程奉願上候 京城南大門 木村商會

東京株式特電
東京現株
大阪株式
大阪期米特電
神戶期米特電
下關期米特電
對歐爲替續騰

國境横斷旅行（五九）

惡山鎭と其の附近

筏を下す鐵砲堰と 鎌首擡げた蝮七八匹 谷間傳うて伐木地へ

足許につけ込んだ鮮人の筏夫　靜かに流れ來る伐木丁々の音

惡山鎭にて　特派員　伊藤韓堂

勾配が急で而も水の少い溪流は筏を流すことが出來ないから一里若くば

二里位の間隔 を置いて流を堰ぎ水を溜めて日に一回又は二三回づつ切つて落しドッと流れ落ちる水の勢を利用して筏を流して居る、之れが所謂『鐵砲堰』といふのである、鴨綠江の上流は天下の大美林、二百數十萬町歩に亘る大森林とはいひながら大河の流域には樹木が無く、此の山奥の溪流に沿うた奥、又は溪流も何もない方面に茂つて居る、乃で伐木の現業地から此堰のある土場迄はトロ車か、或は

牛で曳き出す かこつに一つの方法を採つて居る。本年は既に山元からの流筏期間が過ぎたので内地人の筏夫は下流の方に引揚げたが、木材が數百尺締殘つたので鹽田組では鮮人筏夫に流下方の交渉中だが足許につけ込んで平常の二倍も要求して應じないさうである。山下氏に別れ、伐木主任の三浦唐治氏と共に溪水に沿うたレールを傳うて谷間深く進んで行くと

伐木人夫小屋 が二三軒あつて鮮人夫が焚火しながら遊んで居る。此の邊も山火事の跡であつて數十尺の燒損木が數百町歩に亘つて林立し木の葉の落ちた冬の林の如く、寂しい姿をさらして居る。三浦君が先頭に立つて雜木の茂つた崖を攀る中迅の速さ、此の土地なら負けはすまいと力んでも追ひ着くことは容易でない。殘念ながら兩三間待つて貰つて跟いて行くと『アッ』と叫んだ三浦君が二三歩後にたぢろいだ『ちよいと、之を御覧なさい』と三浦君が

長い杖で輕く 指した方を凝と眺ると七八寸も積つた落葉の間から蝮の頭ほどもある鎌首を擡げた蝮が七八匹、ギロ〱と眼を光らせながら、舌舐づりして構へて居る。卵を持つた此頃の蝮は一層慾が強く、假令誤つて尻尾を踏まないまでも、其附近に近づくと二三尺は宙を飛んで喰ひ付くさうである、險呑々々、木の枝を折つてシッ〱と逐うたがなか〱逃げぬ。

小石を拾うて 投げ付くると漸く木の葉の下にもぐり込んだ。是以來は成るべく土や木の葉を踏まぬ様、倒された大木を傳ひつゝ進むで行く、尤も三浦君の足もこれからは稍鈍つたので辛うじて同行することが可能るやうになつてやつと安心の胸を撫で下す。靜かな谷間を傳うてチョン、チョンと伐木の音が流れて來て、黒く染つた鮮人が『ヨキ』を揮つて樹を伐りつゝある所に出た。二抱もありさうな大木は四五十分も經たぬ裡に打ち倒され大地の靜かさを破る地響きの音は山間を震撼させる如だ。

初冬の午後

問題の少年勞働

我國の實際には適應せぬ 朝鮮では一層骨が折れる

警務局　丸山事務官の意見

年少者勞働に關し勞働會議に於ける一般委員會は原則に於て十四歳を最少限度とし東洋諸國に對しては坑夫及び十五歳以下の勞働者は一週四十八時間の

除外例を 許す事を可決せしに對し印政府委員は特別委員會に於て十六歳以下の勞働者は四十八時間を最大限度とし施行期を大正十二年七月一日と提議したと云ふ華盛頓電報に就て丸山事務官の意見を聞くと『年少勞働者の勞働時間を四十八時間と制限するのは趣旨としては

至極賛成 だが吾國現下の状態では其の適用には幾多の困難がある。朝鮮でも無論困るよ。元來日本には日本獨特の制度慣習があつて一見しては外國の夫れと非常に背反して居る如に見ゆることも仔細に玩味すると大抵は其理由を説明し得て成程と首肯させ得る例へば

外國では 孤兒棄兒等に就て特別の設備を施し其救濟に全力を注いで居るが日本では孤兒院感化院の如きは未だ創目すら程の發達を遂げて居ない、然し日本には在來の家族制度に依つて相當に救濟の法は講じられて居る、又外國では盛んに都市運動の設置が叫ばれて居るが日本では各自

庭園の設 けがあり市街地も廣く比較的に其要求を充し得る如に其他の社會事業に就ても大抵は説明し得るが勞働問題だけは此範圍を超越して居る、だから勞働問題の解決に就ては當分は勿論有識者は相當に頭を惱まして居るが年少者及び婦人の勞働に關しては殊に一層の

考慮を要 する。假りに印政府委員の主張の十六歳以下が通り週四箇年後施行こしても吾國の實際には適用に困難を感じるだらうよ。吾國の現在は工場法の適用を受けてるものでさへ十四時間迄の特別が認められて居るのだし、硝子工場とか燐寸工場とか多く

工場法の 適用されぬ工場に婦人や年少の勞働者が多いのだから施行には多大の苦心を要する譯だ。尚更勞働の實状を異にする朝鮮では其施行に一層骨が折れようが兎に角諸々勞働者の權威が高められて行くのは喜ばしい』

京城神社 由來碑奉告祭

昨日午後四時より

京城神社御鎭座由來を傳へん爲め曩に齋藤總督の篆額工藤文書課長の撰文に成る由來碑建造中のところ今回竣成を告げたるを以て二十五日午後四時より奉告祭を執行したり神嚴びた淨域には來賓齋藤總督代理、工藤文書課長、工藤道知事、金谷府尹其他京龍の主なる官民多數參列し頗る莊嚴を極めたるが此由來碑は京城某篤志家の寄附したる淨財の結晶なりと

十二月一日を境に 新舊の徴兵令

此日以前の在學者には舊令を 志願兵の規則が變る

來る十二月一日より施行される新徴兵令と共に近く一年志願兵に改正法令も發布され從來の志願兵納金百若八〇も

多少値上 さる、と噂されて居るが猶豫特典ある學校に在學中の學生及外國在留者並に今年二十歳の者に對する注意に付き陸軍當局は語る『此の改正令は飽まで十二月一日を境界として實施するものであるから一日の差でも

例外を許 さぬ事に注意して貰ひ度いされば來年二十一歳になる青年は一日迄に特典ある學校に在籍せざる限り何人と雖も檢査を受けなければならぬ而して甲乙種合格の際學校卒業まで（二十七歳迄）入營延期の免許を受ける事が出來る但し

一年志願 に限るので猶豫の特典があつても二十一歳の十二月入營卒たる者は學校に猶豫の特典なしなければならぬ來る十二月一日以後に猶豫ある學校に入つた者は新法令に從ふ事は勿論だ又これから舊法令に依り得る者も假へば高等學校から

大學に行 く場合には何歳たるを問はず廿一歳以上ならば檢査を受けて入營免許を受けなければならぬ外國にある者は從來適齡前渡航した者は免許されて來たが新法令は今年十二月一日を境にして廿一歳の者は檢査を受けしめる』

全南の大火

廿三日夜寄侍全羅南道[illegible]花川面[illegible]

白米騰る

一升五十六錢

鮮米の出廻期では物價騰貴と世間の景氣で米の相場は絶えず上向き廿五日は遂に卸し相場は石で五十四圓から五十四圓四五十錢見當となり小賣も同日から一升五十六錢と云ふ事になつた原因は朝米高と賣り惜みからではあるが惡く云ふ米界の強氣筋で下るまいとは米界消息通の話である

慶北の虎疫

油斷が出來ぬ

慶北迎日郡竹南面立岩洞木炭商山口勇藏は十一月二十三日虎疫擬似症と決定即日死亡し同慶州郡廿浦面漁夫浦川義光も亦同病に罹り目下治療中（大邱）

飛行機材料

大邱に到着

二十四日小倉丸より釜山に陸揚したる飛行機隊備器材等は廿五日朝大邱に到着せり（大邱特電）

電報で千圓

騙取せんとして暴露

和歌山縣日高郡川上村生れ當時咸北惠山鎭高瀨敬造方の筏乘業宗一（三〇）は目下主人敬造が旅行中なるを奇貨として本月十七日京城に入込み主家より千圓騙取の目的にて南大門局より主人敬造名義を以て『千圓送れ』と家族に打電したり一方惠山鎭の家族は不思議に思ひ乍ら本町署に照會方依頼し來りたるを以て同署にては直ちに照會を調査せしに全く宗一が右金を騙取せんとしたる事實發覺したれば宗一は間もなく佐々村刑事の手に檢擧され身柄は二十五日咸北惠山鎭警察署に押送されたり因に宗一は敬造の印章を本町一丁目千代田號印房にて僞造所持し居たり

九名溺死す

帆船の遭難

平安南道平原郡漢川面廿八里金元試は去廿六日外八名と共に六十石積日本式木造船に乘組み塩五十石を積みて漢川面沿岸より出帆鎭南浦に向て賣却せんとて途中平安南道江西郡普林面四里を距る西方約一里半の海面に差しかゝりたるに俄に暴風襲來と共に船は急ち顛覆し乘組員一同は海中に溺死したるが此程に至り右の顛末漸く判明したり遭難時日は本月二日午前二時頃にしてこの損害高八百圓なりしと（平壤）

新家庭

洋式宴會の作法心得

朝餐、午餐 小餐、晩餐

結婚でも其他男女の宴會は近來洋式の流行となつて自然洋式宴會の作法を心得る必要が生じました、洋式の宴會と云へば朝餐、午餐、小餐、晩餐の四種で

午餐會は多 くの場合要談の爲か或は親戚とか友人間の交誼を温める目的で晩餐は社交若くは慶賀の目的で開かれる、從つて宴會の形式も嚴格で服裝は招待状に略服と明示されない限り禮服を着用します、次に時間は午餐は正午より二時迄の間に、晩餐は午後七時より八時までの間に開かれますが參集する時間は指定された時刻より五分乃至十分前に參上するを先づ

主人夫婦は 定刻より三十分前に客を待合室にて出迎へますが此時待合室でベルモット或はゼリー酒等を出されたら之を又は握手をし次に主人の挨拶は西洋式は先づ主婦に紹介されます若し初對面の友人があれば主人の紹介なき限りは默禮に止めます握手をする時男子は必ず手袋を脱るのが禮で婦人は食事の時以外は脱しません著席の際はのが禮でそれより早過ぎたり遲れるのは非禮です宴會當日

日本式とは 正反對で先づ主人夫婦がテーブルの中央に着席するを待つて來賓が男女混合の時は婦人が先に男子はそれ〲主人より示された席に着き食卓と身體の間は三四寸位離して椅子につきます、次に

食卓の上の ナフキンを取つて膝の上に掛けます男子がチョッキにはさみ又は胸から下るのは下品です、やはり膝の上に掛けべきものです、それから著席した時食卓上に挿花があつたらばこれを一輪取つて上着の左襟に挿むことになつて居ますが婦人は隨意です次に食品が運ばれますが最初のスープは匙を横にもつて手前から向ふの方に掬ひ匙の横から靜かに吸ひスープの少量になつた時は皿を向ふに傾けて吸ひます夫れから

パンは左手 で持つて食します決してナイフで切つてはいけません、又パンは餘り多く貪るのも下品です、ナイフとフォークは肉類の料理に用ゐます、その持ち方はナイフは右にフォークは左のものですが婦人等は持ち變へても差支ありません

安東感冒猖獗

安東縣の流行性感冒は漸く猖獗を極め小學校の出席少く減少し二十四日は約千人に對し百十餘名に過ぎず市中にても死亡率增加しつゝあり日々五六名を葬りて居るに至り各家庭にては大に警戒を加へ居れり死亡率は昨年に大差無かる可し（安東縣特電）

火の用心

スワ火事と云ふ時は 一刻も早く消防隊へ!!!

火事の季節が來た毎日此頃は火事騒ぎが二三件は必ずある、京城消防第三部の消防主任小熊部長は語る『十月までは尠かつたが此月の中旬から急に殖て來まして十九日から廿日にかけては

一晝夜に 十回の出火がありました、此分で行くと今年の出火總數は甚だしいでせう、原因は種々ありますが廿一日の出火は温突の自動車屋からの出火は温突の附近に置かれた揮發油が室内の温の爲め自然に發火したのです廿一日太平通の内田新居の出火は火鉢の火が疊を燒拔いたものです、又廿二日壽町の松本と云ふ鮮人の家から出火したのは

電氣炬燵 から蒲團に燃付ても氣が附かず室内のコードが燒上つて電氣が消えた爲め初めて氣が付いたと云ふ始末です火事は總て火事になつて氣が付いても遲い、火事になる迄に注意せんと駄目である、誰でも火には落くが高温高熱には落かぬものである假へば如何に炬燵の火が強くても落かぬが此高温は段々炬燵の

周圍の櫓 とか布團とかを變化させ好い加減焦した後に火が出るのです、蒸氣の暖房裝置など火の出る憂ひは絶對にないと云ふが之も高温になると徐々に焦げて來る若し其附近に引火し易いものがあれば火事が!!!

注意する 事が必要である、夫で炬燵は留守にする際必ず布團を明けて行くのが大切です、大した火でなくても閉して置くと次第に蒸れて燒け上るのです、私は目撃し出掛けて此寒さに燒け出された人々の慘狀を見ると氣の毒でなりません、此點に注意せねばならぬと思ひます、最後に

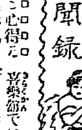
明月館が 全燒したのでさへ其附近の半島新聞の建物が僅に燃上がつた丈で濟んだのは[illegible]

變死者

二十五日午前十時中林洞京南鐵道工事橋梁より墜落したりと覺しき變死者あるを發見本町署に屆出でたるも變死者の住所氏名判明せず本町署にては目下身元調査中なり因に變死者は金廣俊と云ふ[illegible]の健康診斷書を所持し居れりと

○片山醫院移轉　府中内科小兒科片山醫院は從來太平通りにて開業中の處今回南山町二丁目天眞樓より西に至る角の元松岡醫院跡に移轉し一層親切に診療する由

演藝風聞録



▲余を何と心得た　齋藤館では昨夜から『水戸黄門漫遊記』を演じて大人氣を喚んだことがあつた。ところが今度も赤尾崎と云ふ趣向の『大久保彦左衛門諸國漫遊記』を演じて黄門記以上の成功を收めつゝある、彦左衛門が百姓に化けて惡人に捕はれ途に本名を名乘る場面でさは鼓をさ許り力を入れ『余を何と心得る、余は水戸黄門光圀なるぞ』とやつたので觀客ドッと失笑す所しき滑稽物だけに却つて愛嬌、婦士大喝采ばかりだ

▲一八角力大當り　浪花館開演中の落語一座の中に一人角力と云ふ珍藝がある、四本柱の高さが七八寸位、水桶の直徑が二寸位だつたりして甚だ可愛い、そして大の男が舞臺一杯で一人角力を取るのだから珍妙です

▲たいしたもの　特別大演習の際は一寸大正館と齊樂館が一本をカケモチでやつてなる處がこの室島で野村[illegible]

りん病根治の發明

どうしても藥では根治しない

なぜ藥で治らぬか　淋菌が一たび尿道に侵入すれば粘膜を侵して皮下に巣窟を作り一方には粘液の出る無數の小孔の内に深く侵入して盛んに繁殖します、其根據地とした小孔の中には血液も通はねば藥液も屆かぬのですから、何んな強い殺菌藥を服んでも又は注入しても、只尿道面に着て居る淋菌が死で一時上治りするのみでありますから從來の總ての藥や手術では根治しないのが當然です

それを手輕に根治するには新特許の器械を使用すれば本器械獨特の異常力に依り、[illegible]

新療法研究所本部　東京市京橋區木挽町三ノ二五　振替東京貳九四九番

大木 耳鼻藥

耳だれ・耳鳴 及び耳鼻内の濕疹・鼻つまり等總て耳鼻諸病に有効なり

小瓶二十錢　中瓶三十錢　大瓶五十錢

●全國到る所に取次販賣店あり

本舗 東京市神田區大通り鍋町 大木合名會社　大阪市東區淡路町一丁目

資本金 貳千貳百七拾萬圓　積立金 壹千六貳拾萬圓　預金 參億五千萬圓

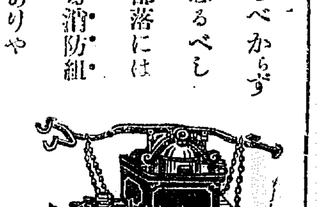
株式會社 第一銀行 京城支店　頭取 佐々木勇之助　支配人 竹村利三郎

外科皮膚科 瀬戸醫院　京城旭町二丁目　醫學士 瀬戸潔

人參エキス　陸軍御用　名支店及全國有名なる藥店に販賣仕居候　萬一品切の節は本店へ御注文願上候

朝鮮京城本町 津村兄弟商會

火災恐るべからず　不用意恐るべし　諸君の部落には完全なる消防組の設備ありや　（ポンプカタログ進呈）



京城 熊平支店

日本優等清酒　灘 花木本家釀造

フクムスメ　特約販賣　京城 島屋本店販賣部

鹽價値下

鎭南浦 一、一一　京城 一、七六　大邱 一、九一　釜山 一、八四　元山 一、九八　群山 一、九〇　木浦 一、九三

本價格は包裝一叺百斤當の價格なり一等鹽は以下品切れ

財務局廣梁灣出張所

致富秘訣 金を殖やす法（無代進呈）

[illegible]

夜の蜘蛛

【三三】 挿畫 近藤紫雲 / 江見水蔭

頼之が元の室に戻つて見ると、其處に早や日立亘が來て、田部谷明と話し合つてゐた。
『さア、そろ〳〵食事を出して貰はう。それから、最後には田部谷君の健康を祝してシャンピンを拔くとして、初めの皿は日本料理を持つて來るんだ。イヤ未だ重大な注文がある。給仕は二人小糸に限るよ。お前が出動するこ、我々は全滅の他は無いんだからね』と頼之は先づタンクを喚退に掛つた。
『い、わ。然う云はれゝば窮地に成つて姿が出るわ』とタンク却々頑強である。
三人は、それから飲み、食ひ、且つ談じた。
給仕にはタンクと龍子とが交代に出て來た。
『我々の新事業としては、カルメン小糸を取押へて、田部谷君の復讐をするのが第一であるか、更に二ツの追加がある、是非それを賛成して貰はなければ成らない』と酔を加へて來た頼之は云ひ出した。
『はツ、二ツの追加？』と田部谷は問うた。
『いや、其の一ツは分つてゐますよ』と日立は田部谷に比較して頭が好い。
『當て見給へ、其一ツを……』
『それは、龍子を保護するのでせう。ツマリ龍子後援會といふのを起さうといふのでせう』
『なる程、日立君、當つたよ』

田部谷はニコ〳〵して。
『大賛成々々』
『それから、最一ツは……ごうも分りませんね』と日立は兜を脱いだ。
『それは、つひ今、其問題に當つたのだがね、實に驚くべき怪事實が有るんだよ』
頼之は三階の少年達に就て、見聞した處を説明して。
『確かに偽物なんだ。學習院の生徒なんて嘘なんだ。あんな者が横行しては、實に聖代の怪事だから、如何にかしなければ成るまいと思ふ。既に彼處まで堕落してゐるのでは、普通の方法では感化出來なからうと思ふ。特殊の方法で教育を仕直すより他に行るまいと思ふのだ。無論それは行つただけれど、それよりも最少深味の有る感化教育法を考へなければ駄目だ。今日の不良少年は、非常に進歩してゐるからなア』
水上伯頼之は熱心に之を説いた。
『や、その通りですぞ。感嘆に於て水上伯なんかも、不良少年の發達したものなんだから、蛇の道は蛇で、貴郎が其處へ着眼されたのは感心！』
田部谷の云つたのは褒めたのだか、冷やかしたのだか、分らないので有つた。

『何しろ先づ差當つては、第二の事業たる龍子後援會に就て、其人を此處へ呼んで、能く其意志を通じて置かうでは有りませんか』
日立は云ひ出した。
『や、賛成！後援會の幹事は是非僕がする』
田部谷の後援といふのは、意味が全く違ふ様だ。

冬服 京染 蒲團 冬向新柄新見本着 京城本町三 電三〇六八 嵜らぎ屋

◎新化粧品の標語募集 化粧料本舗平尾贊平商店にては新製品レートメリーを發賣せり偖ほ同店に於ては斯かる複雜なる作用ある化粧品の特色を最も簡單なる詞を以て表示すべき標句を募り居れり

◎富善製藥株式會社創立 富善商會の事業を繼承し大島要三、桑折長之、長澤倉吉、遠藤富次郎氏等發起となり資本金一百萬圓の新會社創立中の處事業の性質上參千株を割きて公募する筈なり

日報俳壇

蠻蛙會詠草(慶南、南海局)

土に隠り眠る、鶏や今朝の冬 雨陽
初冬や枘鬪ふ陽の障子 武政
引き暮れて畑に白き大根かな
大根引きて漬物石片荷かな
賢屋敷の山茶花に人が佇めり 拓川

○ 蒼谷
大根引きて枯葉淋しき畑かな
監獄の塀に陰る陽や大根引き
殘照に山茶花淡き障子かな
鶺鴒鳴ける庭樹や今朝の冬
鵯飛ぶ築の上瀬や今朝の冬 吉村 梅郷

○
山に落つる赤き夕日や大根引き
晩鴉群れて空を行くなり大根引
山茶花や茶事ひそかなる丘の庵 永山 水哉

○
二三本山茶花咲ける茶店かな
旭浴びて山茶花を鳥が零し居る
山茶花に月仄かなる離亭かな
子供が曳き押す大根積む車かな
大根曳く夕べや寺の鐘が鳴る 金澤 秋江

○
初冬の朝日浴き障子かな
落葉焚き居る庭の盥や今朝の冬
初冬の雨を終ひ飛ぶや白き鳩

○
初冬の埠頭に出稼ぎの人數かな
山茶花思ふまゝ開き庭広し
馬上頭巾の親子は唄ふや海の風 新田 玉泉

○
洗面所に置き忘れある頭巾かな
初冬の崖を染めたる木の葉かな
鼠裡に赤縞の下駄や大根引き 堀 與々多

○
大根引きて車に積むや暮の月
大根曳く傍にチゲ負ふて鮮かな
初冬の陽が照る村の銀杏かな
山茶花に干物の影が移りけり 金丸 魚骨

○
微雨晴れて土匂ふ日や大根曳き
山茶花や鷄雛伏せし夜の閑
山の手に畑立ちけり大根引き 藤井 翠湧

○ 谷口 谷水
宅山の段々畑や大根引き
屋根葺きの眼光るや今朝の冬
岑暗く里は雨なり今朝の冬

○ 渡邊無火子
初冬の月赤く海に落つる哉
山家には柿吊り干すや今朝の冬
大根曳き洗ふ屋後の流れかな

○ 貞光 鐵城
裸灯に草鞋作れる頭巾かな
梢に殘る柿淋しさよ今朝の冬
山茶花の音なく散れる野寺かな

○ 多田 千鳥
海が見ゆる丘の畑や大根引き
山茶花や壁の古りたる山の寺
床に生けた山茶花全く開きけり 山地からむし

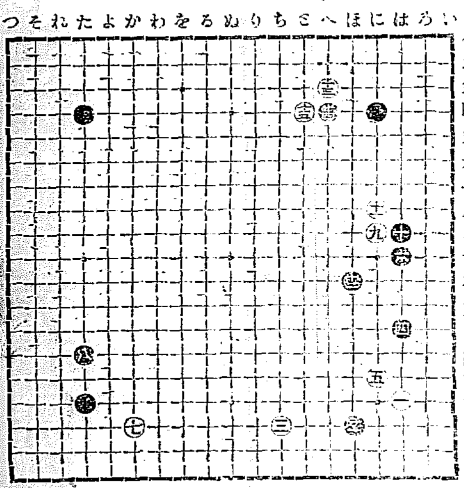
○ 吉原 青羅
霜麥屋のみ初冬の夜を籠める
大根引き居る若者等皆逞し
頭巾ぬげば社頭の杉に嵐かな

…縦て人物誌にして…眼尻より直線に下方へ垂れたる線あり一つとして實物に耳に隠りし線のありしを見ず何か、法則として斯く描かざれば不可なることは存ずれ共其理由を承知の方は一應御説明を願ひます 問ふは一度の恥 知らぬは末代の恥さやら申ますから…お笑ひ被下ますな(不知翁生) ▲エ、ダイ生の…
古錢通さんへ一兩銅貨明治三年の品及び五六年の物五六枚あり何程の價値有りや次第に依つては御譲り致します(所持生) ▲…所氏名を本欄にて御知らせ被下度し(愛見生) ▲私宅…(小大江)本月七日午後より行先不明に相成候御心當りの御方様は電話九九〇番迄御知せ被下候目印(全身薄茶色…)…ツク種掘り眼大)(九九〇番生) ▲…本したるもの所持す御入用の方に進上たし(龍山元町二…生) ▲…下度候(大和、三、作人) ▲…ラ、ギの發行所は東京市麹町區下六番町二七です(光州M子) ▲…を歩きながら物を食ひつゝ通る人がある… られる様だが他から見て… くい感じがする… 頭儀道に入つたのか知らん(二三冬實見した人より)

圍碁新局(一)

(十一月二十二日於本社主催圍碁大會) 五段 瀬越憲作氏 三子 佐藤伊豊氏

○	一	は十六
●	二	ほ十七
○	三	[illegible]十七
●	四	に十三
○	五	に十五
●	六	は十
○	七	か十七
●	八	た十四
○	九	に九
●	一〇	は九
○	一一	に八
●	一二	ほ十一
○	一三	へ三
●	一四	へ四
○	一五	[illegible]四



東日烟禁止 及ベルサイユ國際協約

第一條 締約國は…其の支配下に屬する領土内に於て…行政上の手段を執るの義務を…規則の適用に關する事情に付…相互の協定上の手續を經て之を…合を除くの外之を其植民地、屬地若くは保護領に適用する…
前項の批准書寄託に關する調書は瑞西聯邦政府之を作成し…
第五條 本條約に署名せざる國…いて實施せらるゝものとす…
本條約實施の時期に關し第四條に規定する期間は批准各國…ることあるべき國植民地、屬地若くは保護領は批准書寄託調書の作成の日より五年の…
廢棄は當該政府より又は植民地、屬地、若くは保護領に付いて…其の廢棄は之が通告を受けたる國…
…九月二十六日…

りん病 淋病で困る方切手三錢送れば多年の經驗にて秘密に治す妙藥を人助けにて代お教へ致します 東京市外古里南かや町 武藤龜吉

てんかん ヒキツケ病で御困難の方効能正しき良藥當家に有り返信料添申込れ直に返信す 兵庫縣明石 辰己精米所

京日案内 普通七十錢 一回前金 番外一回前(五名前)金 ▲市内以外中込掲載中止は料金不返 ▲六回以上の申込は特に割引の…

◎古本熱心高價買入 ▲御報答下 ▲本町二丁目 ▲電話三一九五番

◎女事務員募集(高女卒業以上十六歳より廿五歳迄) 希望者は履歴書携帯來社あれ 京城大平通一丁目 朝鮮公論社

內地人雛入一名 外交員一名 入用 希望者は直接本人來談あれ 京城南大門通り二丁目 ミノヤ自轉車店

能筆家招聘 自宅通勤に最適當 自筆見本を携帯本人來談あれ 黃金町四丁目 電話二五九 高麗人蔘製造所

事務員及外交員 入用 希望者本人直接來談あれ 明治町一丁目 電話二〇番 古閑 株式店

電話高價買入 京城本町二 電話八五五 吉田屋

社員募集 希望者は午前十時迄履歴書携帯本人來談(保證人要す) 京城黃金町シンガーミシン會社

生徒募集 普通科高等科專修科 技術優秀教師着任の教授 入學隨意 京城黃金町 シンガーミシン會社 裁縫刺繍

寫眞助手 一名雇入たし 希望者は修業見本及月給旅費支度料等の要求書送られたし …五番通八丁目 大和寫眞館

女事務員 至急入用 月收三十圓以上自筆の履歴書携帯直接本人來談ありたし 京城南米倉町 岩城商會

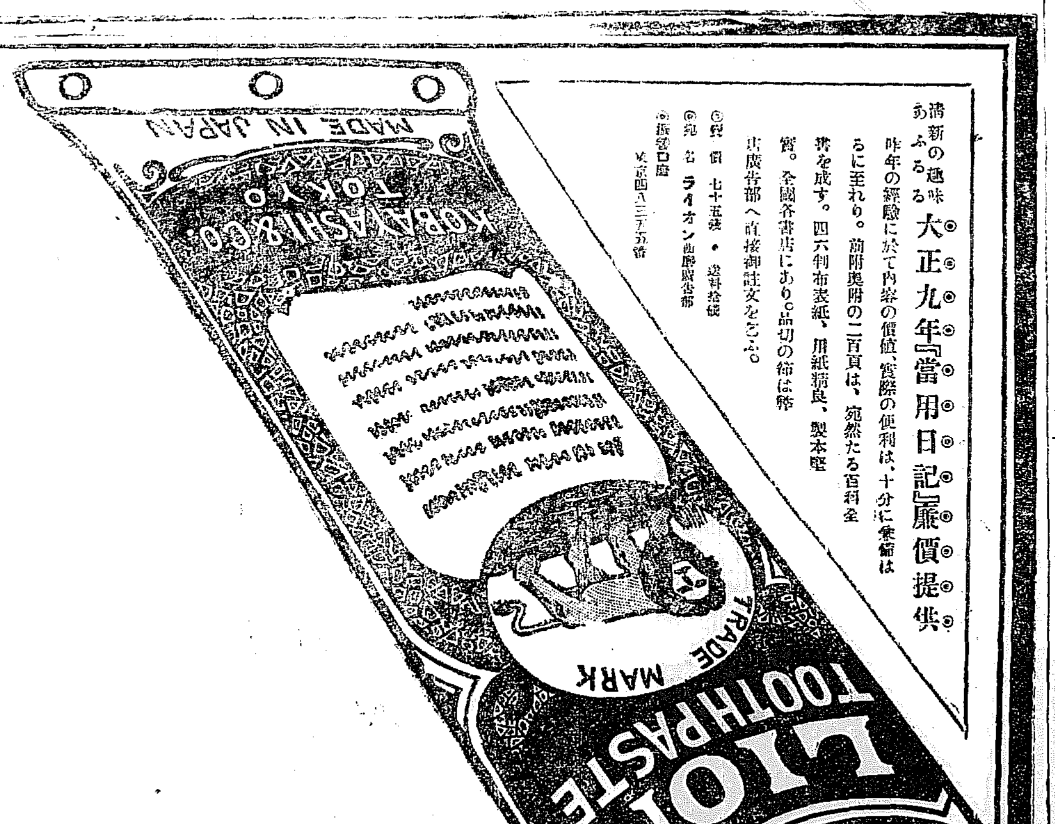
▲賣家 坪數千百坪八間取及果樹園及畑等附有 希望者至急來談あれ 京城明治町一丁目

◎手足の大きな人に急告 見本進呈す 振替京城四六六〇番 京城本町 高野製作所

資本金參百萬圓 (明治三十八年設立)
當銀行ハ預金、貸金、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
株式會社 漢城銀行 京城府南大門通一丁目十四番地
支店所在地 水原、平壌、大田、開城、南大門、釜山
出張所所在地 東萊、平壌大和町、西大門

◆他に未だ類のない自宅最新事業
有利事業 意外
無資本同様誰でも金儲は樂に出來る國益發見地方獨占權ある最も收入多大なる新事業を御紹介します 詳細ハガキで申込めば直に通知す 從來のイカサマ職業とは全然異なる ▲東京府幡ケ谷町 岸上商社

美しくリボン状に出る
ライオン煉齒磨(チューブ入)



香味清新 効果優秀 趣味高尚 使用簡便 容器美麗 携帯便利

清新の趣味あふるゝ ◎大正九年「當用日記」廉價提供◎
昨年の經驗に於て内容の價値、實際の便利は、十分に兼備はるに至れり。前附與附の二百頁は、宛然たる百科全書を成す。四六判布表紙、用紙精良、製本堅實。全國各書店にあり。品切の節は弊店廣告部へ直接御註文を乞ふ。
◎定價 七十五錢 ◎送料拾錢
◎發賣 ライオン齒磨廣告部
◎振替口座 東京四八三二五番

ライオン齒磨本舗 東京市本所區 小林商店 支店 大阪…

山笹竟 著
新案獨學 イロハ引辭典付
鮮語自在

の好評 長足の進歩
定價金六十錢(送料貳錢) ポッケト形二百頁
定價金八十錢(送料四錢) 上製クロース
發賣元 京城日報代理部 振替京城三〇〇番

日本郵船出帆
大連行 濟州丸 十一月廿六日正午 高砂丸 十一月廿七日正午 營口丸 十一月十六日正午
△本船は…
△仁川海岸通…

尼崎汽船出帆
釜山大阪行 赤城丸 十一月十七日後四時 一心丸 神代丸 秀吉丸 十一月十五日 君が代丸 大有丸 十一月十三日
仁川海岸通 高杉回漕店